

會山東

第二號

1953

Handwritten notes in the top right corner, including the number '500' and some illegible characters.



恵風
和暢

元治題

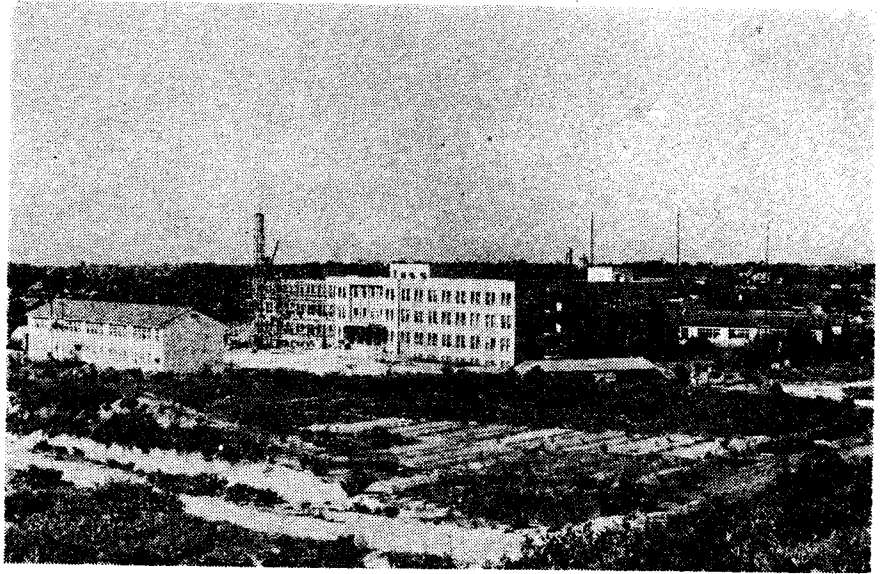


初代総長瀧澤元治先生から特に本誌
のために題字を頂きました。

東山會誌

第二號

1953



工学部施設の増設進む

名古屋大学整備計画も次第に軌道に乗り、その一環として、工学部施設の増設が、東山の地に着々進められていきます。写真は略々完成に達して工学部に一偉観を加えた一号館です。

鉄筋四階建て、総坪数二千坪、クリーム色の堂々たる建物で、位置は電気学科の裏手に當ります。(写真で一号館の右側に半分程姿を見せているのが電気学科の高周波研究室です)

現在、内部は主として応化、電気の研究室にあてられて居り、待望の工学部総合図書室(二百五十坪)、も左翼一階に近く開かれる事になっています。此の一号館の完成に引続いて、同様な規模を持つ二号館、三号館の建設計画も進められている由で、その完成が待たれています。猶写真で手前に見える木造二階建も最近の建築で我が機械学科に属し、応力研究室、機械事務室に使われ、会長生源寺先生の御部屋も此の二階にあります。

隆々たる母校の発展振りを此の写真によつて御想像下さい。
(編輯)

東山會誌 第二號 目次 頁

學生寮の思い出	澁澤元治	1
新制大學の工學部	生源寺順	3
車掌有用論	水川溫二	6
合板工業について	小原茂信	10
無題	大野孝助	14
澁澤先生訪問記	下村龍	16
科學的の人事行政雜感	松澤正統	17
設計室の隅から	服部昭三	19
くれば便利	川本昭夫	22
S君へ	榊原廣	25
雜感	寺田耕	27
今日このごろ	小柳勝	32
壓延工場現場より	松本享	30
アメリカ見聞記(I)	手島知韶	34

アメリカ留學だより	山田豊太郎	37
結婚談議	河合望	40
つれづれなるまゝに	中野一郎	42
三鬼さんのことども	鈴木章平	45
卒業雜感	玉井清一	49
三年間に寄せて	橋本穆	51
新制第一回生として	外山茂樹	53
スポーツ	河路俊昭	55
東山會東京支部總會報告	川浪俊平	59
新役員として	今村康人	60
母校ニユース		54
運動部短信		57
東山會役員		58
事業報告		61
庶務報告		62
輿論調査集計報告		62
會計報告		63

特別寄稿

学生寮の思い出

初代総長 澁澤元治

東山から何か感想をとの御依頼があつた。そこで名古屋在任中の思い出もがたと、当時の新聞切抜集を繕いて見た。昭和十七年一月十八日にこんなのが目に止つた。

○菁々寮生る

「帝大に昇格して日未だ浅い名大校風の基礎をつくる学生寮がいよ／＼開かれる——その名も「菁々寮」と若さを象徴する同寮は東区長久寺町の元米人宣教師宅を改修して建設、新春を祝つて二十三日澁沢総長を迎えて開所式を行うことゝなつた。

同寮收容人員は現在理工学部七名 医学部二名の人物学業、健康の諸点から選んで計九名、今後は十五名に増員する筈である。

なお寮費は月四円、食費一円六十銭で週に一度は各教授を招いて修養と娯楽の話を聞き、下宿・アパート生活には見られない家庭的寮囲気を盛ろうという方針である。」
又この年四月十四日に次の如くある。

○家族的な名帝大（朗らかに総長囲む会）

「すく／＼と伸びよ」というのが菁々の意味です。と澁沢総長が名づけ親となつて生れ出た名帝大生々の憩いところ「菁々寮」で毎月一回総長を囲んで各科の教授、助教、学生が膝つき合せての晩餐会が今月も十三日催された。食事は総長が財布をはたいた国民食場所は狭くその都度招かれる学生の数は少いが巢立の春までにはどの学生も一度は必ず総長に親しく接することが出来るという。学生たちはこれを総長懇談会と名づけている。これこそ師弟同行の麗しい実践なのだ。大きな希望と剛い力と燃ゆる熱とをもつて中京の文化的中心を築かんとしている名帝大は家族的でなければならぬ。家族的な学園から家族的な中京へ、更に家族的な日本への建設進軍は総長の愛国の熱情からほとばしるのである。以和以貴と聖徳太子が仰せられた御言葉は澁沢さんの学園建設の根本理念をなすものである。集いのある毎に澁沢さんは

教授も学生も相俱に仲長除短に忌憚ない意見を述べて
研鑽してゆかなければならぬ。

と俱学俱進を語り、やゝもすれば離れがちな頭と心、生活
と学問をこの夜の懇談会で共に磨き共に練り、以和以貴を
学風たらしめんとする総長の努力に名帝大は今待望の理学
部も己に開講し、新しき時代の模範学園へ逞しい進撃を続
けている。寮に揚げてある藤沢さんの揮毫の「園日涉以成
趣」との陶淵明の一句は人間澁沢総長の片貌を無言に窺わ
せる。

(註) こゝに「園日涉以成趣」(園は日に涉つて以て趣を
成す)は陶淵明の帰去来辞にある句で、私は学園が深刻な
る時局の苦難にも堪えて遅々ながらも日に日に趣を増して
行く様を言いあらわして尤も好んだ句であつた。

さてこの寮は僅か十五人を收容し得るもので当時の学生約
七百人に対して微々たるものであるのに、かく喜ばれたのは
こういう事情からであつた。

当時名古屋は航空機工業が急速に發展しつゝあつた。従
つて之等の工員が激増した。所が一方資材払底の爲め住宅増
築は之に伴わない。だから住宅難は益々深刻となつた。殊に
学生は騰貴する下宿料を支払う能力が乏しいから下宿生活が
益々窮屈となつた。そこで大学でもこれに対応して下宿の世
話をしつゝあつたが困難の度を加うるのみであつた。所が昭
和十六年末ある外人宣教師が時局切迫の爲め帰国する由を聞
き込み早速其の家を大学で借り受け試みに第一の大学附属寮
としたのであつた。翌十七年一月発寮式を行い、その際私は
この寮で学生諸君と共に豚鍋でもつゝさあい懇談会を開き、

私も本学建設の抱負から体験談などを語り、又学生諸君から
も希望や意見をきく機会を与えたならば相互に意志疎通の道
を開いて困難なる時局下教育に資する所多かるうと考へたの
であつた。所が忽ち豚は得られなくなり、米さえ六づかしく
なつたので大学本部の一室で辨当飯を食つて懇談することと
したのであつた。当時年々卒業生の数は二百余名であつたか
ら、毎年十数回会を開いて一通り全卒業生諸君と懇談する機
会を得たのであつた。(昭和十九年末頃迄約三年程続行する
ことが出来たと記憶する)

其後之に倣い皆さんの盡力で寮の数も余程増し、昭和十九年
頃には百数十人の学生が寮に生活することが出来た。処が二
十年になつてこれ等の寮は全部戦災で焼失したのであつた。
実は昭和十四年名古屋へ赴任した当時私は学生寄宿寮を余
り大きくない三十一—五十人位のものを各所に分散して作り
成るべく専門の異つた諸君が生活を共にして総合大学の実を
挙げるという理想をもつていた。処が物資欠乏の爲め実現出
来ないで遺憾に思つていたこととて、前述の方法で幾分なり
とも理想に近づくように努力したのであつた。

私は昭和二十一年二月退職後直に帰郷し、交通不便其他の
事情で最近の名古屋大学の事情に暗いが、故田村、勝沼両総
長の御盡力で七分科を完備した総合大学となつた由で、これ
も私の理想の一角が実現したこととて遙かに慶賀していたこと
であるが、学生諸君の寄宿寮のことは住宅難が益々深刻を加
える今日、常に念頭を去らないので、ここに思い出話を述べ
たのである。

新制大学の工学部

会長 生 源 寺 順

つた。國家から言えば例年の数の約二倍の学士が社会的活動
をはじめめる筈であるから、お目出度いのであるが、卒業す
る一人々々に就いて云えば、果して彼等がする筈の社会的活
動を始め得るかどうか分らないのである。

そろ／＼新卒業生採用の申込みも大学へ来つゝあるが、先
づ旧制の卒業生を、その次ぎに新制の卒業生をと申込みの
多いようである。而して待遇等に就いても旧制と新制とは
多少差等をつけるらしい形勢であつて、新制大学の卒業生の
幸先きよしとは言い難い。社会は旧制卒業生と新制卒業生と
の価値付けを何によつてするのか分らない。又その価値付け
が果して妥当かどうか分らない。実をいへば我々大学当局
者も此の二者の間に差等があるのかないのか、ありとせばど
の程度かという風なことがよくは分らないのである。

真の意味での大学卒業生の力、一言にしていへば大学教育
の効果は卒業生が実社会に出て、何年かたつた後相当数の卒
業生について、統計的にでも調べてみなければ判然しないで

新制大学は医学部の六年を除いては、他学部の修業年限は
四年になつておる。その中二年を教養学科に対し、残り二年
を専門学科に対して費やすようになつておる。工学部に関す
る限り之れでは不十分のように思われるので、自分は日本機
械学会誌昭和二十七年四月号に「わが国の工業教育と新制大
学」と題して、工学部に就いては六・三・三・四の最後の四を
五にすべきであると述べておいた。この小論文が同会誌に発
表される前、旧帝大の教授間には同様工学部の修業年限を五
年にするのがよいという説が出たのであるが、何分にも新制
度では未だ一回も卒業生を出しておらず、果して新制度がど
の程度に悪いかという事も判然してないので、直ちに制度
を変えるのは性急過ぎることになり、制度変更の運動
は一寸足踏みの形になつておる。

処が新制度のもとで教育された学生は早や来年の昭和二十
八年三月には卒業することになり、おまけに旧帝大等に於て
は旧制の卒業生と同時に手を携えて社会へ出陣することにな

あろう。然し大凡その処は見当がつけられないものでもない。特に直接専門学科に関する所謂学力なるものは、其の方の教育に相当の経験のある者ならば、或る程度は分る筈である。然し新制大学の特に重きを置いておる教養学科に関する学力というようなものは、単に卒業の時の各学科の試験点数等によつて、其の効果を判断したり或はその方の力がどうのこうのというのは早計であらう。之れは卒業生が愈々社会生活をして行く年月の経過の間に、其の効果が現われると考へべきではなからうか。

そうではあるけれども概観してみると、専門学科については新制は旧制よりも幾分劣ると考へるのが自然のようである。教養学科に関しては新制の方が旧制より優れておるであらうが、此の優位を以て、専門学科の学力の不足を補うことは、多少は出来るにしても十分にはむづかしい。然らば新制の卒業生——旧制よりも劣つた専門学科の学力の人が——日本の工業界に進出して、それで日本の工業が進歩発展をするのに、差支なく十分であるかどうか。之れをきめるのは中々困難であり、又短時日に結論を出すことも出来難い。然し差当つては社会は再来年以後旧制卒業生が出なくなれば、新制の卒業生を採用し、それ以上修士（マスター・コースを終つたもの）又は博士（ドクター・コースを終つたもの）を余り要求しないのではなからうか。一応は新制の修士で事足りると考へられ、場合によつては卒業生の年令も旧制の時よりも若くて、却て使うのには便利であるというようなことから、新学士は歓迎されるかも知れない。

若し社会が新制大学の卒業生では矢張工合が悪いというの

もやる方がよからうというので、大学院へ入らんとするものがあるかも知れない。但し修士課程を志願するものが、それ迄の成績を考慮せずに入れて貰えることになるかどうかは、未だ明かでないが、若し斯様な未就職者が多数集るようになつて、定員超過ということにでもなれば、何か選抜方法を講じて、定員数だけの入学者を許すことにしなければならぬ。左様なれば此処に大学を卒業して又入学難ということが湧いて来るかも知れない。

以上いろ／＼書いたのであるが、要を言えば、就職の面からは来年の新制卒業生は不利の位置に在る。其の以後の新制卒業生は一応社会から大学卒業生として喜んで迎えられるであらう。待遇は旧制の場合より幾分劣るかも知れない。新制卒業生の学力が不十分だと社会が気の付かない間は、大学院

を發見することがあれば、それは今後何年かを経過した後ではなからうか。而してみると此のままで行けば、我々の大学にも来年から開設される筈の工科の修士課程や博士課程には余り志願者が無いのではないかと考へられる。特に博士課程の方に於ては、その傾きが強いであらう。それに従来のような論文提出による博士号獲得の制度が残る、噂されるに於ては、猶更のことである。

学部のことには就職の点から影響されることが多く、これはよい事か悪い事かというのとは別として、現実の問題として左様なつておる。それで従来としても工科に関しては、卒業後何年かを母校の研究室に過しても、多くの就職先きに対しては、何等効果がなく、場合によつては却つてそれが就職の邪魔にさえなる事がある。それ故従来旧制時代にも工科の大学院、又はそれに相当するものは余り繁昌しなかつたのである。此の点では医科で学位を有することが、その卒業生の社会生活に大きい影響をもつのは、大いに事情が異なるのである。或は理科に於ける如く、普通大学を終つたばかりの修士で、就職するものは割合に少く、多くはその後何年かの研究時期を経てから就職するというような事で、大学院又はそれに相当するものへ志願者が集ると、工科の場合とは事情が異なるのである。

是等を考へると新制の工学士が一応社会に喜んで迎えられらば、多少待遇が以前の工学士に対するものより劣るといふ風なことがあつても、工科の学生が更にその上の課程を卒えて修士にならんとするのは少いであらう。或は就職にも

への入学志願者は少いであらう。然し大学卒業生の未就職者が之れへ入学を考へるかも知れない。其の場合には大学院への入学難さへ考へられない事もない。新制卒業生の学力が足りないといふ風に社会が考へ始めると、或は修士を学士よりも就職的に有利に取扱うような社会状況になれば、修士課程へ志願者が殺到することになる。左様なつて大学四年、修士になるに更に二年、合せて六年を費してから、始めて就職する位ならば、始めから大学五年として修了させるしくみにし、大学院（博士のみならず、修士課程をも含み）は特別の学士、即ち研究を生命とする職に就かんとするものに対してだけ、門戸を開くといふ事にするのが望ましい制度改善ではあるまいか。

（二一十七年八月）



車掌有用論

文学部教頭 水川 温 二

千種刑務所を脱走した囚人二名が市電に乗り込んでいたところを追って来た看守たちに捕えられたという記事が新聞社会面の片隅にささやかに報せられたのは、もう一ヶ月余りも前、十月の初め頃であつたろうか。偶然その電車に乗り合わせていた私にとつてはその小さな見出しで書かれた三面記事の一つはその場限りに忘れられる巷の出来事とは違つた関心を唆られたのである。

それは確か午後の一時近い頃だつたと記憶する。昼食を終えて町へ買物にでも出るらしい婦人客をかなり多く混えたその電車は殆んど満員に近く、まだ暖か過ぎる位の車内の空気が何となく重苦しかつた。それは瑞穂通三丁目から出た名古屋駅行で私はいつもの通りアパートの近くの恵方町から乗つて研究室へ行く途中だつた。御器所通、曙町と過ぎて、阿由知通一丁目にさしかゝる頃私はふと車窓の外を眺めながら、そこに一寸ばかり緊張した人の動きに気がついた。警官のような黒服を着た男が二人ばかり自転車に乗つて何となくあわ

何事が起つたのかという顔付で窓外の動きに顔を向けたようだが、それでもそれがどんな事件なのか判つた人は居なかつたのではあるまいか。

警察官らしい黒服を着て厳めしいひげを生やした男が車掌にドアを明けさせると満員客を押し分けるようにして奥へ二歩進んだ。私の立つていた場所から三、四人の客を隔てたあたりの所で一寸身をかがめると、意外にもそこをうずくまつていた青色の作業服を着て頭を丸刈にした頑丈そうな男を二人引きずり出して、すぐあとから入つて来たもう一人の黒服と協力して車外へ連れ出した。二人の丸刈男は如何にも観念したという顔で眼ばかりギョロギョロさせながら神妙に出て行つた。看守らしい若い男がさも憎らしそうに先に出て来た一人の横面を殴つたのを上役らしい男が留めていた。看守にして見れば、自分たちの責任に関わる大事をし出かした脱走者を見るなり、口惜しきで他人前も何も忘れて憤憤を晴らしたかつたのであろう。すぐ手を出して殴るかどうかは兎に角として看守たちにして見れば、誰しも同じ憤りに燃えていた事であろう。二人の囚人はその場で文字通り高手小手に厳重に縛り上げられてやがて飯田街道を刑務所の方へ護送されて行つた。

電車はそこまで見届けてから漸く今池の方へ動き出した。あと車内は、何人かの多辯家が丸で終始一切心得ていたかのように功名顔に経過を語る賑やかな声と、何となく暗い顔で今見たばかりのいやな光景の印象を逐う人の表情とが悪い後味を湛えていた。その多辯家の説を綜合すると、脱走囚二人は曙町停留所で巧みに他の乗客に紛れて後部のドアから乗り

てた様子で電車道から東の方へ曲つて行つたのである。それを見送つた眼を外らすとそこにもまた二人の組になつた黒服が今度は反対に東の方から電車道へ出て来たところでは何かを探し求めるような落付かない様子をしている。それが極めて短かい時間に走る電車の窓から見えたというだけで、火事でもあろうか、とも怪しみながらも、その辺を平気で歩いてゐる通行人もあつたのを見るとさうとも思はず、あまり気にも留めぬ中に電車は大久手に着いて八事線への乗換客らしい人たちの乗り降りがあつてから、確か車掌もドアを一旦閉めて所謂「信号待ち」をしている時だつた。私が——私は初めから車掌のすぐ傍の昇降口の反対側に立つていたのだが——何の気なしに電車の後部の窓から今走つて来た方向を振り向くと、オー、バイが五、六人の人を満載して猛烈なスピードで線路沿いに走つて来た。それと並んで数台の自転車も走つていたよな気がする。その人達の誰かからであろう、「その電車待て！」という烈しい声が出た。車内一杯の客も潮く

込んだらしい。勿論乗車賃を持つていたとも考えられないので、唯逃げたい一心で少しも早く刑務所から離れた場所へ行こうと思つたのであろう。その心情は一応憐れむべし等と書いたら叱られるかも知れないが、翌朝の新聞で見ると懲役三年か四年程度の窃盗犯で、作業時間中に刑務所としては少しはましな作業服を着たまま高塙を趣えて逃げたということでは真昼間にそれだけの隙があつたということもおかしな話だと思ふ。

それは兎に角として、私がここで問題にしたいのは、囚人たちが乗り込んで来た時に後部ドアの所にいたはずの車掌の責任である。もしその車掌が特別に機転に利く男で、変な奴が乗つたなど気がつきながらもわざと平然と発車信号を送つて置いて車外で走り廻つてゐる追手たちに合図をして捕えることに協力したということでもあれば、これこそ表彰ものであつて、我々乗客も大いに力強く感ぜざるを得ないわけであるが、どうもあの時の車掌は自分の車にそんな脱走囚が乗つていようなどとは全然気がつかなかつたらしい。そこに問題がある。一休車掌とは文字通り車をつかさど(掌)るものでなくてはならない、私には法律のことはよく判らないけれども航海中の船舶の船長が相当大きな司法権を握り警察権を行使することができるのと同様に車内の安全と秩序を保つて為に少くとも警察官の職権を補助する程度の取締りの責任と義務を車掌は持つべきではないだらうか。切符を切つて賃金を徴集し、或ば運転手を手伝つて方向板を替えたり(旧式電車なら)ポールを替えたりするだけが車掌の仕事なら、パスでも電車でも確かにワンマン・カーで十分であらう。いや、も

高性能多色刷オフセット機新設

各種高級美術印刷・合板用包装用>ガムテープ

蠟引紙・巻取紙断截 其他紙加工

三陽工業合資會社

名古屋市西区又徳町四ノ二二

電話西 ㉟2095・2096番

包装紙・掛紙・カレンダー

其他各種紙製品製造卸

三陽紙業株式会社

名古屋市西区上島町五

電話西 ㉟1830・1312番

一貫作業—精密—最新

地圖の製作と出版

官廳用圖面

地学圖書株式会社

名古屋市西区上島町五

電話西 ㉟1312・1830番

取締役社長 遠藤武雄

つと進歩すればノーマン・カーでも事足りるかも知れない。然し、ここに言う「進歩」は科学や技術の進歩だけでは駄目なのである。無人操縦のできる電車やバスが秩序正しく都大路を走るほど「人智」の進歩が見られる日があつても、人間の道義感や公德心が「進歩」しない限り、たとえ、運転手はいらなくなつても、車掌は必要なのである。乗客各自の良心と自制心が単に自らの安全と利益が保障されることに満足せず、互に譲り合い、且つ互に戒め合うほどに、それを理想的なデモクラシーの世の中になるまでは車掌無用論を通用させてはならない。車掌は、丁度運転手が絶えず車の進む方向を見守つて万全を期するように、いつも車の内外に注意を払つて乗客と車体を事故と危険から防がなくてはならない。不潔な人間や怪しい挙動の人間の乗車を拒否したら、特に風紀や車内道徳の維持の為に強い指導力を持たねばならないと思う。現在の郊外電車などで常に見受けるように、禁煙を無視して吸つている客の取締りさえ遠慮しているような気の弱い車掌では本当の任務は果し切れるものではない。この方面の事情に詳しい人の話では、現在では運転手の方が車掌よりも待遇がよいので、暫く車掌を勤めたものでも試験を受けて運転手になりたがるが、明治大正の電車草創の時代には車掌の



方が運転手よりも俸給がよかつたそうである。大正時代の電車と言へば「車内にてふともも出すべからず」などと書いた取締規定が車内に掲げてあつたことを思い起すのであるが、それだけ車内願紀の取締りということが重視され、自然車掌の任務も重んぜられていたのではないかと思う。今日運転手の方が車掌よりも大切にされているのだとしたら、交通機関の運営の技術的物質的な一面だけが進歩して道義性が忘れられていく証據ではあるまいか。もし、物質や科学や技術や機械だけで人類世界が幸福と利益が確保されるものとしたら私たちは一切の労働を機械と人造人間に委ねて徹底的な有閑階級としてそれぞれの好む精神活動や創作に徒然をまぎらすことが出来るかも知れない。しかし、人間の道義の向上はそうしたものでは得られないし、道義と良心の欠けた社会に幸福も利益も保障されるわけがない。私は勿論、車掌もいらさない。ノーマン・カーの実現を究極の理想として希求しないではむしろ車掌だけのワンマン・カーのあとに来るのが正しい順序ではなかつたか、と考える次第である。

(一九五二・一一・三〇)

合板工業について

第三期生 小原茂信

木材加工業の一つである合板工業に従事して以来未だ二ヶ年位にしかならぬが機械関係の工業とは異つて特殊の興味がある。次の小論は或は偏見たるのそしりを受けるかも知れぬが、経験淺きを諒とせられたい。

(一) 合板 (Plywood) ヴェニヤ (Veneer)

合板は一般にベニヤ板 (Veneer) と呼ばれて居るが、原則的にみるベニヤは薄板、単板を指して居り、その儘完成品として市場に出ることは殆んどなし。合板 (Plywood) はベニヤ板で構成されたもので、之に三枚、五枚、七枚、九枚、一一枚合せがある。
ベニヤと言う語は一方うわべの見せかけという意味があるが、今日の製品は決してうわべの見せかけではない。
戦後アメリカの技術が導入された結果、日本合板がアメリカに於て使用されつゝある現状は非常な進歩と言わねばならない。

現にアメリカは此の工業に於ても世界一であり、その生産能率は我國の五倍乃至七倍であることを考えれば、その合理化が如何に良く行われているかを知ることが出来る。

(三) 南洋材と合板

用材は内地材と外材とに大別されるが、内地材は主として北海道材が使用されている。要するに、合板製造は厚木を廻転させながら双物で紙の如くはいで行くことから始まるので、材は成可く太いものを使用したいので他の内地材の如き松、檜、杉の類は殆んど使用されない。(尤も松を使用する工場も多少はあるが、安物類であることは免れない) 今日日本材業界を見るに、我國の山林は毎年々々莫大な量が伐採され、今後十数年で全滅するのではないかと心配する識者もある位である。遅まき乍ら政府としても伐採制限を施行しつゝある一方、森林資源対策委員会を組織し森林資源の活用化を計らんとしているが、いつも机上のプランに終り、その実行化の弱きことは世間衆知のことである。そこで、今日再び外材が華々しく我木材界に登場するに至り、南洋材特にラワン材による合板が出現し、現在、合板界の王座を占むに至つたのであるが貴重なドルを費して迄も之が獲得に懸命であるのはラワン材が合板用適材として最も大衆的であるからで我社の如く更に之を輸出して外貨獲得の突を挙げつゝある処では当然の帰結と言えよう。因みに昭和二六年度合板輸出としての合板厚木を類別すると次表の如

ラワン材の特質及欠点

樹種	硬軟及腐り逆目	節	ヤニ・ミミズ	等級及び其他
レッドラワン類	比較的輕軟 氣乾比重 0.612 組織粗腐り早い	概して少い 産地部依り葉節の多いものあり	樹脂強きものあり 概して少いのが普通	ベニヤ材として最上の木材なり
タンギール	稍材質硬い 氣乾比重 0.663 組織稍密逆目多	時に大節あり 葉節概して少い	樹脂分強い ミミズ殆んど見かけぬ	上材の部。但此の材は逆目多くベニヤ向でない
ホワイトラワン類	輕軟な材 氣乾比重 0.47 組織粗 太材少	葉節多い (ラワン中最多)	概して少い (産地により多いものあり)	二等級材
バクチカン	材質中庸水乾比重 0.50~0.64 組織粗			
ホワイトラワン	材質中庸氣乾比重 平均 0.539 組織粗	時に大節あり 葉節概して少い	樹脂つぼ多い ミミズ殆んど材に見かける	中三板用材等 3×6材
マヤビス類	輕軟氣乾比重 組織極粗 0.43 腐れ早い	葉節多い	概して少い	上材の部
イラワン類	稍軟氣乾比重 平均 0.539 組織緻密腐れ早い	少い	樹脂分あり ミミズ殆んどない	鉋削鋸断困難なる材面欠点なく一等級材

(二) 合板工業と木材加工業

合板工業は木材加工業の内でのその加工度の高いことには最上級の部類に属するものであることは論をまたない。その製造工程数から言つてもざつと二〇工程はある。而も他の木材工業と異なる点は表板に美的感覚を盛り上げ而も強度は均一性をねらう処が特長である。一枚の大きさが五呎×一〇呎という継目なしの板が出来るのは他に類を見ない。要するに、合板工業は一種の大衆向芸術品を製造する工業であると言つても過言ではないであろう。我々製造業者から言へば、芸術品は歴史が示す如く、可成りの手作業を必要とするものであるが故に、製造の原則である如何に多量に短時間に作るかということとは相反するものであるが、之を克服して行く処に合板工業としての特長があつて、之によつて大衆に廉価に提供し得ることとなるのである。

くラワン材が約八〇%を占め更に昭和二七年度は九〇%に達する見込みである。

ラワン材の産地は主としてフィリッピンのミンタナオ島であり、別名フィリッピン・マホガニー (Philippia Maphogany) と呼ばれている位である。今日は外国船に頼らず殆んどが日本船で之を運搬している。ラワン材の品質は前頁の表に示す通りである。

全国輸出合板樹種別
(昭和26年1月~12月)

樹種	数量 平方尺	百分率 %
ラワン	97,337,002	77.28
ブナ	10,742,101	8.59
シナ	804,678	0.63
セン	5,786,160	4.49
カバ	915,943	0.72
ナラ	2,393,303	1.82
マツ	7,601,269	6.05
其他	578,360	0.42
合計	126,260,816	100

(四) 現在の合板の品質

現在の合板はその製造機械及び接着剤の進歩によつて格段の進歩を遂げた上戦後特需受注によつて一段と拍車をかけられたのである。即ち従来の合板規格には之と異つて纏まつたものがなく、日本輸出規格が詳細に定つたのは戦後

のであるが、板面の検査等は実に一枚毎に実施するのであり、かかる検査は他の産業には類を見ない。次表に品等別を、かゝつて説明にかえる。

合板規格抜萃

合板の種類別

一類 合板

1. 完全な耐水性を有するものをい、長期間の外気及び濕潤露出に耐え、且つ微生物におかされないように接着したもので、別記の煮沸試験、乾熱繰返し試験及び含水試験に合格するもの。

2. 表板及び裏板の内側並びに心板及びそえ心板にテープを使用しないもの。

二類 合板

高度の耐水性を有するものをい、通常の外気及び濕潤露出に耐え、且つ、微生物におかされないように接着したもので、別記の温冷水浸せき試験及び含水率試験に合格するもの。

三類 合板

普通の耐水性を有し、室内用として使用するものをい、軽微な乾濕の変化に対して、お、むね当初の強度を保つように接着したもので、別記の冷水浸せき試験、常態接着力試験及び含水率試験に合格するもの。

四類 合板

耐水性を特に必要としないものをい、別記の常態接着力試験及び含水率試験に合格するもの。

五類 合板 (※別記は略す)

一類合板、二類合板、三類合板及び四類合板に適合しないもの。但し常態接着力最低 SOLUBILITY 以上のもの。

である。然し特需規格が出現するに至つて日本合板界は少なからず動搖するに至つた。何となればアメリカに於ける規格を殆んど変形せず本邦メーカーに要求したのであるから、最初は殆んど合格品を作ることが出来なかつたのである。為に合板界は一大衝撃を受け、業者はこぞつて従来の大豆グルー接着剤を離れ、現在使用しつゝある合成樹脂接着剤を使用し始めたのである。又その接着の研究表面仕上

或は乾燥等に研究に懸命になつたのであるが現在に於ても、尙一部に特需規格の緩和を要望する声もある位である。我合板界はこゝにはつきりと彼我の工業水準の差異を認識したのであつて、我合板工業の進歩の大半は実にその影響によるものである。機械設備の改良についても多々あるが大いなる差異は下表の如くである。

機械設備の進歩の一端

作業	旧態工場	近代的工場	備考
乾燥	風洞式乾燥室	ドライヤー	之により乾燥能力及乾燥度一定
材物処理	手廻式ジョイナー	加圧式ジョイナー	仕上高上及能力
圧縮作業	常温プレス	熱圧プレス	合成樹脂接着剤と使用可能となる
磨作業	ベルトサンダー	ドラムサンダー	アメリカ輸出可能となる

合板の品質は強度試験と、含水率及び板面(表及裏)の試験によつてその品等を附する

(五) 建築と合板

以上申上げた如く、今日の合板は所謂安物時代から脱却した為に、建築材料としては単に内装用のみでなく外装用として使用されるに至つたことは、建築界にも亦進歩を促すに至つたのであるが、之を實際に活用する為には合板メーカーと建築設計家或は施工業者とが互に研究しあふ以外に方法がない。具体的に言えば、今日の大工さんに至つては合板は「ハゲル」ものなりとの先入観から耐水性合板すら知られない人が多い。筆者が僅かの間に経験したことは、某アメリカの土建会社から兵舎設計のため協力を依頼され弊社の合板と接着剤を提供したことがあるが、之は合板と柱で一枚のパネルとなし之を外壁に使用したり、梁をトラス組立の代りに合板を使用する等の工作を施し、実物大の兵舎を仮設して荷重試験をなし、立派に合板を使いこなし得た例があるが、之等は典型的なものであると思う。

之に反して日本建築界ではかかる件について積極的に如何に考へておられるであろうか。我々は合板メーカーに過ぎないもので、かかる問題は素人として扱われ勝ちであるが、いさゝか疑問を持たざるを得ない。

最近、プラスチック (Plastics) の合板、或いは金属と合板について研究中であるが、既に金属面を有つ合板の試作に成功したが、之は現在の建築界の要望にこたへたものと言えよう。

要するに、今後は化学或は金属工業と合板工業とが密接な連繫の下に次の新製品の出現に邁進すべきであり、建築材料としての合板もその価値を一段と高められるであらう。

(東洋ライウッド株式会社勤務)

無題

第二生期 大野 孝

卒業以来満九年の年月が経つたが、速いものだ。省みると我が身は大流の小舟よろしく、低迷そのもの、金くもつてたよりない。最近の読書中からでも思いつくまゝに書きしるし、会誌の余白のうめ草にでもなれば幸いと筆をとつた次第。

× × × × ×

ちか頃読んだ書物のうちで一番面白く感じたのはシュレディンガーの「What is Life?」である。これはさき頃シュレディンガーの「Statistical Thermodynamics」を読んでいてそのカバーに広告が出ていたのを見つけ、さつそく注文、薄くて面白いので一気によんでしまった。人にその話をしたら岩波新書で訳本が出ているとのこと。シュレディンガーはかの波動方程式のシュレディンガーである。私はこの本の内容を全部理解し、それをくだいて講訳しようなどとおぼろげに考えた。私なりに感じ取つたことを述べてみたいと思う。

× × × × ×

ている状態と、バラ／＼になつていゝ場合を考えれば、後者の方が余計にちらばつていゝのは当然で、これをもとの秩序にかえすには、実際やつてみるのも分るとおり、かなりめんどうな仕事がある。このことは云わば熱力学の第二法則に類推的である。すなわちエントロピー増大の過程の一つのサンプルとしてこれを挙げていゝ。

シュレディンガーはこのエントロピーの概念をもつと一般化して、「負のエントロピー」を考えていゝ。我々が「負のエントロピー」をもたない場合は、物が風化すると同様、周囲とのいゝ／＼の交換によつてエントロピーは増大し、ついには周囲と熱的に平衡状態を保つにいたるであらう。これは死んでいゝことに他ならない。そうならないのは我々の食う飲む等の動作が「負のエントロピー」をとまなうからである。統計熱力学でのエントロピーはボッツマン定数とランダムネスの逆数の対数との積になる。ランダムネスの逆数はいゝれば秩序づけを示すことになる。

× × × × ×

この考えはとも面白く思ふ。たとえば勝手だが、この「負のエントロピー」を「生命力」といつたものの尺度に考えてみよう。

社会の制度にしても、専制君主政体、貴族主義政体、あるいはいゝゆるデモクラシーの政体といゝ／＼あるが、夫々周囲に対する不応と云う点では生命力ともみられよう。それで一定数の人間社会で、これに秩序がともなつて政治形態をとる場合、ランダムネスはこの系列に従つてふえていゝわけ

彼はその本の中で生命現象を論じていゝ。以前カレルという人の「人間これ未知なるもの」という本をよんだことがあるが、その中でカレルは生命現象をこれまでの自然科学の概念からのみ導こうとするには方法論的にあやまりがあると指摘してゐたと記憶する。

シュレディンガーの生命現象への考察がカレルのいうところのものへの解答にいささかでもなつていゝようとは思われないが、世界の指導的立場にある物理学者が生命の神秘に思をいたし、そんなに著名の人が平然と、いわば自分と全く同じがいのことがらに、たゞ真理を愛する自由な立場で筆を染めていゝる立派な態度と、それを許す社会の環境のよさをますます深く感ずる。

× × × × ×

統計熱力学ではエントロピーをものランダムネス、すなわち「ちらばり方」で定義してゐる。スレーターは「Ludicrous to chemical Physics」でわかりやすく説明してゐるが、たとえば、はめ絵があるとすゝる、これがちやんとはまつ

で、かゝる系列の歴史的必然性はジャン・ジャック・ルソーが「Social Contract」(英訳)中でもいつてゐたと思ふし、世の常識でもあらうが、一応この理論からも云えそうだ。だが誤解のないようにねがたいのは人間一人が、一人で判断し、一人で行はば自由に振舞える個人を対象としての話してゐる。

もしこのようなロジックが許されるならば、資本主義の下では交換価値論を引ばり出すまでもなく、経済上での個人の自由度は制約されざるを得ないからであつて、それがどんな形に推移すべきかは考え及ばないが、少くともランダムネスを増加し、「負のエントロピー」の絶対値を増加させる方向即ち経済上の「生命力」を増す方向がまともかと思ふ。ただしこの場合、それを秩序づけることが必要で、たとえば急進的な共産主義者の云うことはたしかに経済上ではあるいはこの方向にあるのかも知れないが、遺憾ながらこの方面の知識はまだ充分にもつてゐないし、それに前にのべた政治形態の点からみると私には釋然としないものがある。

× × × × ×

だいが珍説じみたことを申しのべ恐縮だつたが、自分の仕事の方はあまり面白味のあることもないし、それに大学時代金く遊んでしまひ、今更研究所でこんなことをやつてゐますと行々しくも申し出せず、そうかと云つて同窓諸兄、悪友その他について下手に消息めいたことを書けば後難のいたる恐れもあり、いつそのことストリップ劇場見聞記その他軟文学系でもと思つては見たが、さうしよつちゆうストリップ・シ

ヨウを見たり、浜町で隅田川の月を眺めたり、キャバレーに入りびたつてゐるわけでもないし、それにどうも生源寺先生はじめ、先生方の御目にもとまる可能性を考えると不調和の上もなかるうし、結局だぼらめいたことも書いていれば、間違つても、自分の腦加減を疑われるだけで済もうと思いついたままで、茶のみ話しの御つもりで。

× × ×

最后にかのフランス軟文学の古典をものしたフランソワ・ラブレエー大人あるいはバルザックがその風流な話のなかで教訓をたれるのを忘れなかつた故事にならつて云うならば。同窓生がたゞらばつていてはだめで、それがいわば生命体として存在するためには会本部が存在し、会員各自が義務を果し、かつ会を催したり、会誌を発行したりすることによる秩序づけが必要で、掲示板に書き出される心配がないからとて会費を滞納する等もつての他（小生はこの原稿と一緒に送ります）と愚考。シュレディンガー博士の説はこの点でも諸兄並に（小生）へ反省をうながすものがある。

（昭和二十七年九月）

澁澤先生訪問記

第二期生 下村龍助

陽は柔かくさしていたが、やつぱり寒かつた師走朝日。高崎線の深谷駅（上野より約一時間半）で下車し、小さい町の中を十分程歩くと家並が疎になる。刈り取られた田の中の道を暫く行くと血洗村に至る。此処が初代総長澁澤先生が現在御住いに成つて居られる処である。先生をお訪ねすると名古屋においでの時と御変りなく豊饒として居られました。今年ハ七十才で喜の字の御祝の年との事で、誠にめでたい限りです。毎月一回は学士院の事で上京なさるとのことです。東山会に鄭重に宜敷くと申されました。名古屋大学にも大変愛着を感じて居られるようにおみうけしました。是非一度東山会へ御迎えしたいと思います。いろ／＼承わりたい事がありましたが、旅行の都合でうかがう事が出来なかつた。いづれ又機会をみて先生の御様子を承わり御伝え致したいと思ひます。

（16）



科学的人事行政雑感

第五期生 松澤統

主として Taylor (テイラー) によつて唱えられた科学的管理法に始まつた諸原理を行政の領域にも適用し、政治的社会的条件によつて規制された公務員制度に対しても、その技術的合理化を試みることに、能率的な行政を確立しようとするのが科学的人事行政の目的である。

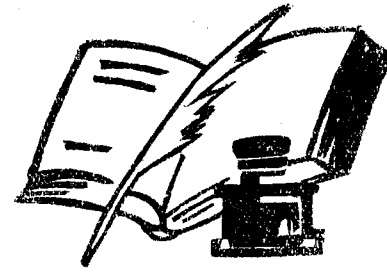
過去の我国においては、官僚は天皇の官吏として、国家権力の担当者として国民に対して優越的地位を占め、その結果人民の批判及び民主的統制の彼岸に安住し、官僚の尊大、独善、割據主義、繁文縟礼、先例踏襲、秘密主義等が横行していたのであり、従つて行政能率も自から極端に低下せざるを得なかつた。

国家公務員法はこの点の合理的改革を行うために組織、任用、待遇、規律等の全般にたり、科学的技術を応用し、能率の向上を図るものである。第一に各省のセクショナルリズムを排除して統一的な人事行政を実現するための人事院を設置し、第二に公務員の地位を派閥、学閥等から解放し、同一学力同一賃銀の原則を貫いて給与を公正化すると共に職務の体系化責任の明確化を実現する職階制の採用、第三にいわゆる有資

格者とされる高文合格者の特権の停止と、客観的公正な競争公開試験の実施、第四に人事行政の運用に當つて、その公正と能率とを確保する人事記録の作成、第五に不利益な処分や待遇をうけた職員の異議申立権の判定等を始めとして、室内の採光、机の配置、書類の綴り方の合理化等の新制度が織り込まれている。然しながら、先進民主主義国家が、新しい公務員制度の樹立の必要に迫られて創り出された科学的人事行政も、これを受け入れる国の政治的社会的条件が未成熟の場合には、かえつて逆効果を生ずる場合のあることを、我々後進国民は注意すべきであらう。元来、科学的人事行政なるものは、アメリカに於て獵官制を克服して、成績主義を確立しようとした改革運動が、近代的大経営組織の発展の所産であるフオードシステムやテイラーシステムの如き、労働能率向上を目的とする科学的管理法を攝取し、これに結果したものであるが、こうした獵官制の歴史を有せず、同時に科学的管理法を必然的にした程高度に資本制的発展をみず、政治的近代化が進んでいない我が国に於ては、いままお、残存している絶対主義官僚制の温存の根拠となる恐れのあることを警戒

（17）

しなければならぬ。何故ならば、アメリカに於ては民主制の過剰により生まれた獨官制から合理的の人事行政を保障することであつたのに対し、我が国の場合は民主制の稀薄から出現した官僚制に対して、まづ民主的の人事行政を確立する必要があつたからである。我國行政に附着しては、むしろそうした方法の採用を妨害しては、非民主的の性格に深く由来してゐる。かゝる見地から、科學的の人事行政制度の運用に當つても、單なる技術的の見地にのみ立脚すべきではないであらう。



原稿募集

会誌第三号の原稿を募集します。締切は一応八月三十一日と致します。東山会宛お送り下さい。

設計室の隅から

第九期生 服部正三

昨年本誌の創刊号が出ることになつたとき、幹事の〇君から私にも原稿を出すように勧められたのですが、内容は成るべく職場で体験や感想をと云う言葉に、つい尻込みしてしまいました。突のところ卒業してそろく二年にもなると云うのにその頃の私は、ひねもす製図板にかじみこんでいるだけの図面の虫になり終つていて、とても体験などは語り出せそうもない其の日暮しが続いていたのです。あと一年したらまた何とか途も展げようかと思つて、次の号には何か書かせて貰うからと辞退しておいたのですが、何時しか時が過ぎてその『次の機会』が来ているのにすつかり周章で、了いまして。一才年を重ねても相変わらず設計室の片隅にくすぶつてゐる旧阿蒙、云うなれば『三等技術者』でもありませんよ。諸先輩諸友が夫々その活躍振りや抱負を述べて居られる中に立混つて紙面を汚すのは全く汗顔の極みなのですが、〇君への約束もあり且つはこつた繰り言を並べてゐるのが一人位はあつても面白からうという不埒な者を持つてやつと筆を執りました。

就職試験のときに、審査のお偉方からどんな職場を希望す

福本製粉株式會社

營業所 名古屋市中村区泥江町二の七
 電話 本局五四九〇番
 製粉工場 市外西枇杷島町小場塚
 製粉工場 海部郡甚目町新居屋
 飼料工場 海部郡弥富町鮎浦

るか尋ねられて深い考もなしに『設計』と答えに私は、今にして思えば随分迂闊でした。戦時中勤勞動員で立働いていた頃感じとつた悪い意味での『現場的なるもの』への反感とその弊『現場』の現実を知らな過ぎることに對する一種の不安とから之を敬遠する気持ちが仿いていたのでしようか。学生時代と余り變りのない生活環境を望む安易さに驅られていたのだとも云えましょう。兎も角もこうしていきなり設計課に入り込んで了つた私は、それつ切り此処に立て籠ることになる訳でして、此の後果して現場へ飛出す機会が来るやら先づ今のところでは考えられません。勿論入社して早々見習実習なるものがあるにはあつたのですが、それも都合で予定期間を早く切上げることになつたので、この僅か数ヶ月間が事實上の現場との接觸の最後でした。そして地理的にも全く設計課と工場とが遠く相離れて位置している關係上、ともすれば遊離した存在としての設計屋になり勝ちなのにつけても、学校——↓設計課というコースを選んだことが甚だ疑問に思われて来ます。

現場に無理解な設計ということが屢々問題にされるのです

くれは便り

第十期生 川本昭夫

昭和二十六年三月、住み慣れた名古屋を後に、合成繊維の分野に職を得て、サラリーマンの生活に入る事になりました。でも卒業、帰省、そして入社と慌しく日を送つて了つて落着いて学生生活を反省する時ありませんでしたが、愈々赴任の旅に出ると、流石に三ヶ年の生活が思い出され、これといつて勉強したわけもなくのんびり過しましたから、これからのノートを活用して行くべき研究に果して応用して行けるかどうか少々心配になつて来ました。殊に機械科の課程には化繊の講義はありませんでしたので好奇と逡巡が胸中に交錯したものでした。就職地は東北、といつても福島県の南端に在ります。昔源義家が散る樓を謳つて有名な勿来関のある處で、又戦争中の珍物風船爆弾が盛にのぼつたという丘も手近にみえました。全くの田舎町でした。しかし住めば都で、休日もテニスや綱引きに没頭する事もなく過しました。この地方はズーズー辯は用いませませんがやはり東北特有の方言が多く皆で練習したものでした。

扱、従事した仕事はククレハロンクの紡糸から製品までの工程の中間工業試験でした。私がまいりました時は丁度研究

所で設計した手製の紡糸機が動が出した所でした。こゝでは吳羽化学で作られた塩化ビニリデンと塩化ビニールの共重合物ククレハロンクを熔融紡糸し、これを工業用濾布や漁網ロープに作り上げています。紡糸の方法には乾式、濕式、熔融の方法があるのですがこのサラン系のものには熔融紡糸が一般に採られています。これはエキストルーダーによつて送り出されるパウダーが途中加熱されて熔けゴム状のものになり先端に取り付けたノズルから數十の單糸となつて空氣中に押出され一度水冷されて後延伸ローラーにかけて延ばされこの作用に依つて結晶粒子が一方向に整然と並べられて始めて糸になるのです。だがこの方法はシンプルだけに押出される量と加熱がバランスし難く、加うるに糸は熱に対して非常に敏感ですので、これの調整に苦勞と経験が必要でした。故障が起きた時など夜が更けるのも忘れて修理に汗を流しました。案外思いがけない手近な所がまずかつた為事故が起る場合が多いもので、ギヤポンプのサクシヨン側から空氣が入つていた為油が流れず失敗したこともありました。でもこの様な運転、保全等から身を以つて得られるプロセスが結局は

本當の技術者に育て、呉れる糧となるのでしよう。この仕事は亦、誰もがはじめてで本や文献にも無いんですから全くの創作で、それだけに成功の喜びや改良の辛苦は格別です。

(米國ダウ社では十數年前よりサランを製造しています) 紡糸した糸は撚糸、捲糸、合糸の工程を経て織布して濾布に仕上げますが、濾油性もよくそして絶対に酸やアルカリに侵されぬ(王水にも)特性が綿やビロンよりも優位に立てる原因となつていますから好評判です。細糸糸で服地を作れば共産黨分子の硫酸瓶に会つても大丈夫なわけです。強度耐久性共保証されていますが、やゝ高いのでこの欠点をのぞくため新しくKK&Kと稱する織維を作りました。これにより濾布の他シートや裝飾用にもどしどし売出される様になりました。以上は、細糸多數糸(マルチ糸)によるものですが太手單糸を紡糸したモノフィラメントも研究しています。先輩諸兄も是非御試用下さい。

その後、私は東北百日の生活に別れを告げ新しく研究所建設のため關西に来ました。場處は大阪の郊外、猪名川の流れる前にして、夕方などチョット京都を思わせる様な處なんです。でも建設の方は、長らく休止していた前世紀の代物の様な小工場を改築するので、水利の事がわからないし、又建物も柱が多く、色々面倒な事が続出しました。しかし、これは工場設計の勉強には格好のもので、よい経験になつたと思つています。工場の隅まで知り盡して了うともう自分の家に住つてはいる様な氣持です。そして建設の進捗に伴い、連続運転に入る為生産用機械の組立が始まり試運転により紡糸条件が決定せられ三交替の昼夜運転に移つて行きました。自家発電

の設備を持ちません故、電力事情の悪化から屢々見舞われる停電には困つたものでした。それは停止すると機械の中のパウダーが余熱の為分解して了うので、機械をすつかり分解して掃除せねばならぬからです。これが最大の敵でしょう。

現在私は、化繊布のカレンダー処理やプラスチックと取組みますので、エバグレースを作るにしても、布にコーティングするラテックスの研究と共に二つの處理法が問題になつてまいります。又現在の仕事は特許の講義を受けていたら活用出来るとうと、残念に思うことがよくあります。

こちらへ来て奈良や京都辺りへ出掛けてみました。法隆寺や唐招提寺、藥師寺等のある奈良盆地は流石に古代の面影が残つて居り、そこに安置してある佛像にも傑作が多く、印象に残ります。京都はやはり庭園がよく嵐山もさること乍ら苔寺や南禅寺なんかよい處と思えます。年寄りみだ事を言つてはいる様ですが、靜かに觀賞していると落着きを取り戻してまいります。今度は何とかして桂離宮へ行きたいと思つています。

紡績界も操短問題や合理化運転で荊棘の道を歩んでいます。我々技術者としても勿くこと、探求すること、たとい失敗しても何故そうなつたかと云う事が解ればそれはプラスになる。それ故に、懲りず、慌てず辛棒強くやつて行く事が、事業を達成し人間を完成に導くものであり、自信を身に付ける事になるのだと思つていきます。

日立製品の御用命



是非当社へ

營業品目

日立モートル
日立冷凍工事

日立トランス
日立製作所製品一切

日立製作所特約店
日立製作所冷凍工事特定工事店

株式会社 電 惠 社

名古屋市中区大池町四丁目一番地
電話 中② 1938・3107・1137番

S
君
へ

随分長い間、御無沙汰してしまい、その間に度々お手紙を
載いていながら失礼ばかりしてしまいました。お元気で何よりで
す。賢兄のお手紙にも最後の夏休とありましたが、僕も今更
の様に振り返って学校の頃を思い出した次第です。一昨年の
今頃は空白に苦しめられ、一層孤独から脱しようとしたにも
拘わらず、容赦なく時日が流れて行つた様に思います。友達
とも心から話し合う機会を殆んど持たずに、結局、社会に出
たわけです。

それはそうと、この夏は、山へも海へも行かずじまいで、
八月上旬に暑さに負けてからは、会社へ出勤するのがやつと
で、そのまゝ九月に滑りこんだ恰好です。一年経つて、勤め
になれて、気が弛んだと思つてはいますが、少し体に自信
を失つてしまいました。とにかく、變化のない單調な生活が
続くのですから、その点でも、今では負擔が何時の間にか加
わることが多いのでしょう。そうなるに、勢い自ら事を構え
ることのない日常に陥り易く、仕事の上か、その他にでも、
興味を持つて努力する生活をしない限りは、強い性格の人は
獨善に、そうでない人は感情のみのメランコリーになる傾向
があります。環境に段々適合してくると、ポテンシャルの低

富士電機製造株式会社

富士通信機製造株式会社

特約店

共立電氣株式會社

名古屋市中区住吉町一丁目二十九番地

電話 中② 1250・1251番

第十期生
榊
原
廣

い所に落ちこんで、何時しか、自己の運動の *Free Passage*
が縮少してしまい勝ちです。僕自身にとつて言えば、社会人
としての今の日常では、元の様な閉鎖的な性格を保つことは
不可能で、その壓力は私的な個人生活の中にまで歪みを來す
様にさえ考えられます。一つの機構の中に入りこんで、仕事
をして行くには、どうしても *Cooperative* でなければ、何
一つなし遂げられない事實を痛切に感じています。その上、
自分の考えが、例え、正當であるにせよ、それを實現する爲
の、全く人為的なかけ引きがまずかつたら、その正しい考え
自体すらも、無かつたに等しいこともあり、その場合、常に
必ず、責任が伴うことも、分つて來ました。これらのことは
学校にいる時から、多少は聞きもしましたが、實際は更
に錯綜していると思えます。ともするとこうした事のない嘗
てを顧みて *„Alte gute Zeit,“* と思うこともありませう。よく
学校での事は工場では役に立たない。と言つたり、それから
いろ／＼言うのを聞きますが、僕は決してそう考えていませ
ん。勿論多くの前提はあるでしょうが、一切無駄ではないと
言い切れると思えます。現に僕は、学校のノートを手許に持
つて、参考にしていますし、それによつて、大いに助けられ

たこともあり。寧ろ警戒しなければならぬのは、大学での三年間を、自己の人生の浪費に歸してしまふことの方だろと思つています。現場での経験といつても、全然我々が想像もつかない事ではないのだとも云えまじやう。これによつて萎縮させられることはないと思ひます。

僕の個人としての生活を申し上げますと、一年経つて、落着いたのを機会に、この夏の始めから、遅々としてではあります、本を読み始めました。本當に学校生活の煩悩の自由さなまで頭は動きませんが、その範圍をより限つてやるつもりです。しかし、基礎的な知識にすら缺けていますので、何れもやり直しの様なものです。その上に、教養的なものもと考へると、机の上は本ばかりで、少しも片附かず、焦燥にかられます。又、エンジンヤとしてこれからはどうしても、經濟的な考へが必要だとも感じています。とにかく、消化不良の頭を抱えて、四苦八苦しなから、出来るだけ努力して見ようと思つています。それらについては、又お会いした時にでも仰つくりお話し致します。

では最後に、メモの中から、少し抜き書きして見ます。これによつて、僕の精神的な生活の内容とまで行かなくても、僕の頭のある所を御判断下されば、幸甚と存じます。

現代の小説が、かくまで我々の精神の働きを追いつめて、それに知らず知らず、反逆を強いている時、我々自身が苦しめられ——一人一人の當人は皆、苦しんでいると云う——解放された状態の奴隷に陥る一方だということを知らないのは不幸である。しかし小説家は一点を見つめてそうした言葉には動かされない。その一點というのが、實は、平凡な人間

をありありと思ひ出します。

雑 感

【その一】

嘘も方便と云う言葉がある。私の最も嫌な言葉である。嘘をつくことによつて色々な事が便利に、或は自分に都合よく濟まされるならば嘘をいつても良いと云う様な意味である。最近の世相を見ると、どうも世間全体がこの方向へ向つて近づいて行くのではないかと考えられてならない。終戦後共産主義の跳梁によつて、唯物的な考え方もこれと一緒に巷間に育まれ、心に不安を持つ人々は自己の生活を少しでも樂にしようとして、世間的に一寸便利な様に考えられる。この考へ方に傾き始めた。彼等は、道徳は世渡りの便の爲に人間が考へ出したものだと思はれる。

そも、嘘偽を正當化する理由は全く無いのである。たとえ人類が一人残らずこんな考え方を持つに至るような事があつても、永遠の昔から永遠の未來に至るまで變らない自然法の上からは、即ち全く客觀的には嘘は常に嘘であり、不義である。自然法は人間が考へ出したのではない。既に人類の發生以前から、否地球や太陽の出来るよりも前から既に決つて

が、日常の意識の下に自己の血を捧げることになりつゝある。そして我々の中の、それを構成していることに誰も異存のない、もつとも醜惡な、もつとも活動し易い、あらゆることに均等化された指向性をもつ無生物の住む場所であることを知らない。他からの脅迫觀念なしに、而も、何かに追いつめられた様に思ひこんで、絶えず、自己の存在をすべての瞬間の共通の場から少しでもはみ出させようとして居るのは、變形した自己保存の本能というべきではなからうか。しかし我々には、我々以外に一切の原因を求めなくてもよい様になつて行くらしく見える。その當否は別として、私に言つては、痛切な複雑な感情なしには考えられないことだ。唯確かなのは、現代の一般——小説に反映している——はすべてそこまで行つてはいないということだ。(P. 112)のすれた層からなるこの世界の軋轢は痛ましい。原因を辯證法的に追求して再び外ならぬ自己——始めから不明瞭ではあれ、考えられてはいたが——に立ち歸つて來た我々は、更に、その自己の中にあらゆる可能性を、即ち一つの世界を作り出さねばならなくなつた。誰もこれを既定の事實として承認したのではなくて、我々の自己運動が今や、その國內を通過しつゝあるのだ我々はこの状態に耐えて行かねばならない。

まとまりのない事を思ひつゝいたま、に並べてしまいました。日頃の無音に重ねて、御海容下さい。貴兄の御意見を何かの機会に伺せれば、幸いと存じます。これを書きながらも卒業して、自分のまわりに出来上つていた環境から一人だけ抜け出して、全く別の所に、意識しながら、再び環境を作り出さなければならぬと思つていた一年前の漠然とした不安

ではまた、お体を大切に。さようなら。

第十期生 寺 田 耕

いるものである。何時出來たと云うものでなく、初めに既に存在していたのである。

物理や化学の自然法則と全く同じ様に永遠のものである。萬有引力の法則はニュートンが造つたものでない。永遠の昔から存在する萬有引力の法則をニュートンはたゞ発見しただけである。これを法則として認めただけである。もしも人間がそんな法則は存在しないと主張しても法則々の物は嚴然として創造主の手中にあり保存されるのである。客觀的に存在するのである。

事實を認めようとしないう程惡意に充ちた行いはないであらう。よく不良学生が先生に叱られると、「僕そんなことしません。」と云う。もしこの生徒が事實としてそれを行なつたならば、たとえ先生をだますことが出来てもこの生徒の行跡は歴史的事實として残る。金人類がそれを非認しても事實は常に事實である。更にこの生徒の嘘言も事實として残る。實に自然法は絶對的な法律である。何物によつても變更されない。勿論時代の變遷によつて變らない。永遠は時間ではない。永遠の物は時間に関係がない。人間には自由が與え

られてはいるが、自然法を變える自由はない。隣の人にぶつか
らない範圍でなら手をふりまわすことも自由である。しかし
そこには自ら制限がある。自然科学に志す我々に最も必要な
事は事實を率直に認めるという事である。

【その二】

最近海外の有名音楽人がよく來日するに様になつた。戦争
の爲に音楽に對する眼や耳を塞がれていた日本人にとつて、
久し振りに海外の名士によつて演奏される音楽の窓に首をつ
つこんで、中をのぞくことが出来る様になり、まことに喜ば
しい事である。彼等の演奏には眞に激刺たる物が感じられ
る。これで本當に音楽だと感じられるのである。たゞ入場料
が高いのが残念である。子供の頃からピアノが好きであつた
私にとつて、間もなく來朝を傳えられるアルフレッド・コル
トの演奏は何としても聴き通したくないものであるが、入
場券の入手がなか／＼困難な様である。自分の勉強の爲に時
々音楽會へ行くことは是非必要であると思う。上手でも下手
でもよい。『〇〇先生門下生研究發表會』の類でも、とにか
く勉強になる。あの曲のあの所は指の弱い自分には難しい所
だが、あの生徒はどんな風にして乗り越すだろうか——とか
あそこはあんな風にベタルを使うとやつぱり音が汚くなるの
だな——とか。色々と學びとる點がある。又、世界の巨匠級
の演奏では技術が立派な事は勿論であるが、その曲全体のも
つ雰囲気や實に鮮かに書き出されている事は驚く程である。
音楽會に樂譜を持つて行く事を非難する人が時々あるが、
彼等は「樂譜を前に、しかも面をしてどうして音楽を楽しむ
事が出来るよう。」等と云われる。舞台の演奏者を眺めながら

音楽に酔う爲には確かに樂譜が邪魔になる人もあろう。しか
し何も楽しむ爲に音楽會へ行く人々ばかりとは限らない。音
樂會の會場でこそ本當に苦しみながら勉強している人もある
だろう。だから必要な時には自分も樂譜持參組の一人となり
必要な事柄はその都度書き入れておく。後でこれを研究すれ
ば必ず得る所が多いのである。

【その三】

よくショパンの特徴はその弱々しきにあると云つて、全く
病的な迄にショパンの弱い面を誇張して弾く人があるが、私
は反對である。
ショパン自身は弱々しい表現をしたかも知れないが、それ
は彼の肉体的な欠陥が演奏の時に外に現われたものであり、
彼の表現しようとする物とは異つたものである。内に不屈
の精神を漲らせていても体の弱さの爲にそれを充分に外へ表
現出来なかつたのであろう。又彼自身の演奏も今の一部の
人達が想像する程弱々しいものではなかつたであらう。
更に當時彼の愛用したブレイユのピアノと現在のピアノと
はそのアクションの重さが相當異つて居り、同じ曲を當時は
楽に弾けても、今は相當体力の衰づけがなくては弾けないと
云うような物もある。
彼の不屈の精神は病苦をおして祖國ポーランドを救う資金
獲得の爲に連日の演奏會を開き、遂にその爲に死を招いた事
から大體想像出来る所である。ルビンシュタイン、ホロヴィ
ッツを始め、巨匠の面々はいづれも實に元氣よく、力強い、
健康の溢れたショパンを聞かせてくれる。これがショパンの
表現せんとして果さなかつたものであろう。

工業用ゴム・ホース
各種ゴム製品
革ベルト・革パツキング
各種石綿製品

ゴム } なら何でも間に合う
革石綿 }

三島護謨株式会社

名古屋市中区南外堀町一ノ二
(市電景雲橋電停前)
電話 東 5 5 2 9 番

東京芝浦電氣株式会社
昭和電線電纜株式会社
代理店

株式会社 千代田組名古屋支店

名古屋市中区南大津通七丁目二ノ二
電話中 二〇五三番・二〇五四番

壓延工場の現場より

第十期生 松 木 亨

年移り、星變りて大学の門を出で、もう一年半になりま
す。變転目まぐるしき社會にてその猫の目の如く變転する波
に流されつゝ暮して居ります。

楯、書けと云われても不安でまともつた事などとても書け
そうにありませんが、製鋼會社の壓延工場の第一線技術者として、灼熱の鋼のた打つ中で感じた事を述べて見たいと思
います。

吾々が大学を出て、工場へ入ると實に世の中は進歩しつゝ、
あるという事を痛切に味わせられました。

全く世の中の進歩、特に工場の變り方というものは恐しい
勢で迫つて來て居るといふ事を知りました。

即ち機械の自動制御と作業標準化であります。特に壓延作
業というものは一つの流れ作業であり、その巨大なるブラン
トの各パーツは從來、人力を以つて連結されて居りました。
それが、最近、凄まじい勢で機械に置き變えられ更にその連
結の調整操作も自動制御を以つてなされる様になりつゝあり
ます。

今迄、そこで働く人間は單なる勞力を提供するのみならず

二週間、その計測器、又は機械に對する訓練を受けた人が發
揮するのです。

人間の視覚により、それを動作に移す時間より、計器に取
付けられた發信器より自動制御に入る方がずつと精度の高い
ものであり、正確で、且迅速であります。又別の事例として
今迄、當工場が鋼塊を壓延機の孔型へ次々と移して行く場合
小形壓延機では手でやつて居り、鋼塊が何十米と長くなつて
くると、廻り箸と稱する特殊の操作を行つて居りました。こ
の作業は極めて難しく又危険であり、この作業中、鋼塊に巻
きつかれたり、ロールにかまれたりして、不具になつたり、
生命を落した人はどれ丈あるか、解らぬ位でせう。それ故、
工員の腕はこの操作の優秀であるかどうかによつて決定され
て居りました。所が最近では或る機械の出現によりすべてこの
操作は機械によつてなされる事になつてしまいました。

工員の作業より確實に、如何なる惡条件に於ても、素晴し
いスピードで行つて行くものです。一人の工員も居らず、轟
々と凄まじい音を立て、千度以上の鋼が次々の孔型へのた
打ち下り移動して行く状況は十數人の工員が、輕奏する灼熱
の鋼の中で、汗水垂らし、危険を冒しつゝ、作業して居た去年
迄の姿を見ると隔世の感があります。

こゝで小生の深く感ずる事は是等前述の事實が現在社會に
どの様な影響を與えるかと云う事です。機械化と自動制御の
發達は軌近凄まじきものであります。之によつて生ずる優秀
なる熟練工の將來への不安は之を打消す事は不可能でせう。
如何に熟練せる工員でも自動制御の前にはカンは、所謂、輕
験の集積であるカンは到底足許にもよれません。恐らく人間

從來の従業員は所謂熟練と稱する經驗的知識を以つて機械を
操作して來、その爲機械の操作にはその人のみしか巧みにな
し得ないという事を甚しき場合には、生じたのであります。

所が、現在は單に勞働者は勞働の提供のみの存在になりつ
ゝある様に感じられるのです。この事についてももう少し詳し
く述べて見ましよう。私の關係した仕事の中の一つの加熱炉
計器運転という事に見るならば、鋼塊を加熱する作業に於て
如何に最も燃料少く、且つ適正なる溫度を維持して行くかは
難しい仕事です。第一、加熱された鋼塊の溫度を天候、時刻
に恐わされず千何百何十度と肉眼で判定する事でさへ三十五
年ばかりの事です。

それ故、この難しい仕事の出来る人間は何十年という經驗
工であり、又誇を持つて居り、その仕事は他の何人の追従を
も許さぬ嚴然たるものであり、彼が多數の人々の頭となつて
行く重大な要素であるのです。

之が一朝にして優秀なる計測器、又機械に置きかえられる
時、彼等の技術は最早、誰にでも容易に行い得るものとなる
のです。否それ以上のもの、熟練工以上のものを僅かに一、

が眼が二つ、手が二つ、足が二つである限り、數人分の計器と
運轉系統を同時に調整する自動制御には敵し得ません。又人
間業では到底なし得ないスピードで、又凄い力で數十分の
仕事を巧みにして行く機械の前には体重六十斤の人間ではと
ても手も足も出ません。かくして製鋼工場にあつては機械の
力が凡ゆる職場に進み出し、驚くべき高性能を擧げ、生産の
合理化に偉大なる貢獻を致して居ります。之は喜ぶべき事で
せう。然しその反面、幾多の長年の經驗を持つた優秀なる熟
練工が職場を奪われているのです。一体彼等はどうかすれば良
いのか。もう一度やり直すには餘りにも年を取りすぎていま
す。二十年、三十年の經驗を積む事か果して可能な事とせう
か。工員達は唯現在、及び將來は機械の管理で充分と云う事
になります。そうなる迄には多くの人々が職場を去らねばな
りません。機械という超人的なるものに負けて去るのです。
熟練工はどんな機械化されても役に立つと云う人もいますが
それは極めて僅かな一例にしか過ぎません。自動制御の取扱
等、又機械の管理等は凡ゆる人々に極めて容易に、且つ正確
に、殆んど僥劣の甚しい差を生ぜずに出るものです。

必ずや近い中にこの機械化による鉄鋼界の革命が、否、勞
働者特に肉體勞働者の過剩が原因となり、失業者が増加し、
産業革命が起りさうです。

この既に萌芽の出つゝある問題、機械化と筋肉労働者との
問題を思いつくまゝに書きなぐつて、諸兄の御高見を頂けれ
ばと切望致します。

今日このごろ

第二期生 小柳勝

名古屋にいた頃は、もう少し気が短くて性急だったように思う。考えるよりも先に動き出していたことが多かったようだ。

三十才になつた頃か、人事院に入つてから、血の巡りが悪くなつて、動きが頗るカンマンになり、あまりにも激しい世の中の動きを茫然と二階の窓から眺めるようになった。役所の窓から見られるマロニエの並木が、(東京でもマロニエの並木があるですよ)芽をふいたり、實がなつたり、丸坊主になつたりするのを三、四回見て過してゐる。これは同じ所に勤める最長記録である。ある時は一ヶ月勤めて止めたことがある。それはタイムレコーダーを作る会社だったが、お顧客の機械の修繕に出掛けた時、なおすつもりで分解始めたところ、ゼンマイが猛然とはじけて歯車から何から全部こわしてしま

つた。これはもう小生の手に負える仕事でないときらめて止めた。同じ勤めも三、四年もするとマンネリズムになるもので、多少の變化をつけよう今年になつて、持ち上げられるまゝに組合の執行部に入つて見た。息子を抱えた親父が今頃組合の仕事をやるというのもコウバイの遅い話だが……

(註)うちの息子は二才と数ヶ月になる。おしやべりで、お世辭がよくて海でボートに乗せたら波をこわがつてガタガタふるえた不肖の子である。ときにその頃から共産黨の動きも例の火災ビンを中心に激しくなり、それだけでなくも國家公務員法を背負つたマエのわが組合は彼等の虚實の駈引の中で、頗る難澁な動向を見せつけられなかつた。

隣に警視廳を控え、前に最高裁、少し足を延ばせば人民廣場と、新聞記事

を、また日本の中の嵐を眼で見ると、な、そして少しは身に感ずるような地点と仕事になつて、このところ多少血の巡りと感はず運々とした動きを示している。日本も本格的な歩みを始めるにはまだ間があるようだし、今日彼所へ来た宮田重雄君の話では、日本人の壽命も八十位迄は大丈夫だろうだから、小生も腰を据えてマロニエの並木でも眺めていようと思つてゐる。

エンヂニヤを離れてから、腕に職なく、特殊な才能もない男が、漠然たる直感と人間同志の信頼とを頼みに生きる行くても、捨て難く楽しみ多いものである。

☆ ☆

住友化学工業
新日本窯業
特約店販賣店



藤本産業株式会社
名古屋支店

名古屋市中區島田町二ノ一〇
電話本局(23)2437・3438番

本社 大阪市北區宗是町一(大ビル)
電話土佐堀(44) { 3250—9番
833—5番(直通)

東京 東京都中央區銀座八ノ二
(出雲ビル三二號室)
電話銀座(57)1819・3002番

福岡 福岡市藏本町一六
電話東(3)4752番

アメリカ見聞記 (1)

第四期生 牛島知韶

貿易会社の一職員としてでなく工場
の實習生という名目で約半年アメリカ
で生活した体験の一部を御披露に及ぼ
うという譯です。併し凡ては諺に所謂
百聞は一見に如かずで、従つて私がこ
ゝに拙文を公開しても、それは讀者諸
君にとつて百聞の一聞に過ぎない譯で
す。それでも尙一文を草する所以のも
のは編集委員の御熱誠に答える以外の
何ものでもありません。

冬のさ中、正月の十九日に彼の立派
な羽田飛行場でそわ／＼と機上の人と
なつた私は、残暑の最もはげしい八月
二十一日の晝さがり、今度は誠に見す
ばらしい羽田の飛行場に悠然と降り立
ちました。此の僅かな期間中に日本は
占領國から獨立國に出世し、同じ日本
アメリカのグローリー・オブ・スカイズ
機には注意書、その他に英語以外に支
那語と日本語が使われる様になりました。

同一色同一型の一見見分けのつかない
車が次々に生れ出るとばかり思い込ん
でいた私には全く意外でした。コンベ
アを離れた自動車は直ぐに若い女の
が運転して重量計測や性能検査等を行
いつゝ工場外に流れ出して行きます。

扱、此の數多い自動車の走る道路は
どうかと申しますと、之亦厚いコンク
リートで次々と建設され、今や三レイ
ン四レインのハイウェイがアメリカ全
土を縦横に走つています。四レイン即
ち片道二列宛四列幅の、道路一哩を建
設するのに約百萬弗を要すると云われ
ていますから、道路の建設に国や州が
かけている費用も亦莫大なものであり
ます。嘗つてリンカンハイウェイなる
ものが大陸横断の幹線として設計建設
せられたりしましたが、之が日本で
もよく見られる中高の道で或程度利点
もあつたのでせうが、運転が極めてや
り難いと云う悪評を蒙つてしまひ末だ
一部しか完成しないうちに、今度は全
く平坦で中央に境界線(時には之が細
長い線の芝生であつたりしますが)を
設けた四レインのターンバイクと稱す
るハイウェイが、フィラデルフィアを
中心にニュージャージー及びペンシル
バニヤに建設され、凡ゆる他の道路と

た。
茶目青目のノツボの間にはさまれて
黒目四ツ目をギョロ／＼光らせた、嘔
の体験談を、今回は自動車關係に極限
して話を進めることにし度いと思いま
す。

アメリカには非常に自動車が多いで
す。現在三人に一台の割合と言いますか
ら人口一億五千萬とすれば五千萬台の
自動車が右往左往していることになり
ます。そして自動車は既に生活の一部
になつて居ります。私の下宿した家は
偶々自動車のない家でした。七十三才
の老婆が一人で生活している家です
から無理もないと思ひます。併し全体的
に申して自動車の無い家は極めて稀で
す。農家の如きは廣大な土地の中に点
々と家が散在している爲もあつて自動
車二台、トラクター二台位を持つてい
るのが普通の様です。

無交錯で延々と西へ西へ延びつゝ
あります。所謂クローバリーフなる立
体的道路交錯方式が要所々に採用せ
られこのターンバイク(一名スパーハ
イウェイ)から各道道に出て行ける様
になつております。

ハイウェイには夫々番號がつけてあ
り、道路標式が全国的に統一されて居
り、制限速度、道路交叉、前方の屈曲
駐車車の可否、前方主要地名及夫々への
距離等を懇切に示しています。
自動車は主としてその持主が運転し
ます。一家の主人が運転し奥さんはそ
の隣席を占めるのが普通の様です。そ
れも車の左右に離れて居るのではなく
二人がビタリとくつき合つて座るの
で、奥さんの席は丁度運転台の中央と
云うところになります。彼氏と彼女の
場合であればその接觸度が更に増すと
いうことになるのは當然です。日本で
あれば家族連れなどという時は前の運
転台の脇へは子供を座らせるでしようが
アメリカでは子供は荷物と同じ扱わ
れ、大抵後の座席に置かれます。土曜
日曜になると、こうした二人連れや家
族連れが續々と郊外から田舎へとハイ
ウェイをドライブします。
運転手が自動車の持主ですから車を

私の通つていた工場でも工場長からハ
ボ工員に到るまで皆自動車通勤で大半
は之を工場前の廣いパーキングスベ
ースに整然と駐車させます。中には主人
が工場勤務中に奥さんが、シヨツピン
グその他に家の用に車を乗りまわし、
工場の退け時に、又迎えに来るとい
う光景も、少なからず見受けられました。

ニューヨーク州の如きは州の保有す
るハイウェイが一萬二千哩余あるのに
同州に登録されている自動車は、之を
前後接觸させて並べると、延々實に一
万四千哩にも及び、ハイウェイの長さ
を越えること二千哩といふすからそ
の數の多いのに驚かざるを得ません。

私は歸途デトロイトでフォードの工
場を見学しましたが、組立工場に於て
毎分十八呎半の速さのコンベヤを離
れて行く完成車の數は、五十數秒に一
台であり、他の自動車会社の生産をも
思い合わせると、日々生れ出る自動車
の數は實に膨大なものであります。一
寸茲で書き足しますと、フォードの組
立工場は次々と生産されて行く自動車
の型や色は、一つ一つ皆異つて居りま
す。即ち赤いセダン、續いては茶色の
ステーションワゴン、之に続くものが
青の濃淡に彩られたセダン等々。之は

大切にすることは云うまでもありませ
ん。或る工作機械の如きは其の取扱注
意書に「此の機械を大切に取扱ふこと
恰も汝の車に対する如くせよ」と記し
て居りますが、此の様な注意書が通用
するのはアメリカならではと思われ
た譯です。一般に田舎のハイウェイ等
には歩行者は殆ど見られぬと云つて
もよい位で、偶々街道の村邑で歩行
者を見掛けますと、自動車は歩行者の
横断を優先にするといつた態度が見ら
れます。

紐育やシカゴ等の大都市になります
とバスやタクシーが、無數に見られま
す。次第々々に自動車の數が殖えて街
の道路はその巾が狭くなつてしまひ、
一方交通を余儀なくされて居る所がだ
ん／＼多くなつて来たやうです。例へ
ば紐育では主要道路を除き偶數番街が
東向、奇數番街が西向の一方交通で、
中には縦のアヴェニューにも此の種
限を設けている所があります。
之等の街角には、どこにも交通信號
が整然と設置せられて系統的に交通を
指揮しています。交通信號の變り方は
縦全部が赤、横全部が青で、之が一時
に變るといふ方式と、一日中の時間に
依り、交通量が多い側の車の動きに従

つて次々と青信号に變つて行く方式と
があります。夜など飛行機の上や高い
ビルディングから、整然と立ち並ぶ街
燈と共にこれら交通信号が規則的に變
る様が實に美しく見られ、又スムーズ
に流れて行く無数のヘッドライトの流
れは云うに云われぬ美しい夜景を作り
出します。

自動車が多くなればなるほど深刻に
なるのは駐車の問題です。既に古い都
市では何處でも駐車の問題に頭を悩ま
して居ります。紐育ではビジネスセン
ターであるダウンタウンには自動車も
もつて入れないという状態であるばか
りでなく、夜などロードウエーにパ
ーキングスペースを見出すことは極め
て困難です。最近ではパーキングメー
ターと稱する駐車時間標示器が歩道の端
に丁度自動車一台分の間隔で立並んで
居る所が多くなりました。車はこゝへ
駐車する度に豫定時間に從つて規定の
金額をメーターに入れて時間を標示し
て置きます。何日目に役場の係の人
がその駐車代の集金にまわつて居るの
が見られます。結構町のよい収入にな
るのだそうです。

その他に何處の町でも各所に空地を
利用した駐車場があり一時間五〇仙か

ら一弗五〇仙位の間に車の降り場を探
している人に便宜を興えています。併
し之も次第に場所が狭くなりピツツバ
ーグでは三階建鉄筋コンクリートの駐
車場も見受けられました。結局平面的
には解決がとめられず、立体的に伸
びて行かざるを得なかつたものと思わ
れます。

一方極めて實際的で安全に作られて
居るにも拘わらず、交通事故で年々失
う者は極めて莫大な数にのぼり最初の
自動車事故で命を失つた者以来、昨年
十二月のクリスマス少し前に第壹百萬
人目の犠牲者を出し、今や次の百萬人
を目指して着々と交通事故は進捗して
居り、関係者の間では次の百萬人は之
迄の百萬人に要した半分以下の日數で
到達されるだろうと心配されて居りま
す。それで居る自動車の利用者が余り
増す一方であるのは、之丈の事故を起
し乍ら事故の率と云うものが極めて少
く、結局利用者の利益が損失を何百倍
と上廻るからで、自動車が社會文化に
及ぼした貢献ははかり知れぬ程大きい
譯なのです。

自動車之余りに發達している為、汽
車は案外不便です。即ち遠距離旅行者
は飛行機を利用し、近距離なら自分の

アメリカ留学なより

第四期生

山田豊太郎

第一便

七月十三、四日頃出發の豫定であつ
たのが、アメリカ側のスケヂュールの
變更に依り二十四日、午前九時、羽田
を發ちました。

全部で三百名ですが、早い者は十三
日、遅い者は二十五日に發ちました。
小生の飛行機はパンアメリカンでウエ
ーキ、ホノルル、サンフランシスコ、
と行きましました。他に、ノースウエスト
カナディアン、パンファイック、エアラ
イン機で行つた人もありました。アメ
リカ大陸は、ユナイテッドエアライン
機で、デンバー、シカゴ、ニューヨーク
と到着、更に汽車で二時間許り離れ
た表記の所、フィラデルフィアの近郊
にて、準備教育、即ちオリエンテーシ

ョン、コースを受けています。
途中飛行機では色々な珍しい、景色
を上空から眺める事が出来、又所々、
着陸した時に、又、其の場所の空気を
味わう事が出来ました。サンフランシ
スコで三日程遊んでいましたが、ニュ
ーヨークではすぐ發ちました。

現在のオリエンテーションコースは
夏休中だけで、九月からは、デトロイ
トの、ウエーン大学へ行きます。來年
の六月迄です。現在は午前中、講議だ
とか、ミーティングをやり、午後はスポ
ーツ、讀書、ティー、雑談等、夜は映
画、音楽會、其の他となつており、來
週からは、討論や、一寸した旅行があ
る豫定です。當ハバフォード大学は、
小さい所ですが、校庭は廣く、氣分の
よい所です。世界各國から學生が集つ
て居り、日本人、ドイツ、フランス、
イタリア、フィンランド、ノールウェ

自動車で行くという譯です。列車の事
は次の機会にゆづり度いと思ひますが
列車はその運転回數が少い爲に事故が
極めて少いので、或るユーモアが次の
様なことを申しました。

「汽車の事故が自動車の事故よりも
少いのは何故か」
「それは火夫が機關手に抱きつか
いからである」



ー、エヂプト、タイ、ウルガイ、ナイ
ゼリア、ネザランダ、デンマーク、イ
ンド、イン、ネシア、皆色々な顔をし
ていて、中々區別がつきません。名前
が中々覚えられません。それ／＼なま
りのある英語を話していますが、皆試
験を受けたと言つていますが、總体に
うまいです。アメリカの係員達も非常
に親切にやつて呉れます。まだ二、三
日しかなくていけませんので餘り詳しい
事は分りません。到着早々は、疲勞で
睡眠許りといっていました。

もつとよく分つてから出すといふの
ですが、遅くなつては不可ないと思つ
てベンを取つたのですが、これから又
講議がありますのでこれ位で止めます
が、第一印象は物量の國であると言
う事、自動車が多い事、道路がよい事、
飛行機、飛行場、山、野原、總てが規
模が大きい。人種は雜多で展覽會の様
なものです。

講議や學校の内容、試験等について
はまだ何も言えません。
今日はこれ位にして置きますが又お
便りませう。
八月二日

第二便

デトロイトウエーン
大学にて

手紙が遅くなりまして申譯ありません。もつと早く出そうと思つていましたのですが、當大学についてからの方がいいと思ひましたし、最近色々忙しかつたので遅くなりました。
ペンシルベニア州のハバフォードカレッジのオリエンテーションコースは九月五日に終つたのですが、(六週間)その前に、英語の試験や、歴史、又一寸した隨筆を書かされました。
又、インターナショナル、ナイトを催して、色々、歌を歌つたり、寸劇をやつたり、踊りやら面白い一夜を過ごし、最後には、パンクエツトを催して最後の晩餐があり、卒業記念？を頂きました。八日から當校のレヂストレーション(登録)がありましたので、豫定をたて、ワシントン、ピッツバーグを見に行つて参りました。色々な歴史的な建物や、工場を見て参考になりました。

ました。
八日から、當ウエーン大学で今学期のレヂストレーションが始まつたのですが、日本の大学と違つて、学生が好きな科目を自分で選び出すので、科目と時間が記してある本を各自買ひまして、希望の学科を選ぶので、特に我々日本人は英語のハンディキャップがあるもので、一般の学生と同じ様にとると後で苦勞するとの事です。尤もマスターのデグリーをとる氣持がない我々——学校當局も、餘りすゝめない——は案外自由に選擇出來ます。グラジュエート、コースをとつている者は殆ど自由ですが、アングラー、グラジュエートの学生は科目をとるに當つて、その先に必須科目があるので、あまり勝手にとれません。小生は、大体自動車に関する学科をとりました。まだ實際習つてみないと程度は分りませんが、本を見た所、左程大した事はない様です。
宿の方は小さい部屋に、友達と二人で暮らしています学校の宿舎です。便利よく出來ています。
當校は案外街の中心に近くて丁度、名工大程度位置です。近所に、図書館博物館等がありますし、便利です。デ

イア・ボーンのパオード工場を一寸見
て参りましたが、實に大きいもので
す。ほんの一部分を見たわけですが、
工場内はバスで廻ります。其中、ぼち
／＼と、全部に亘つて見たいと思つて
います。又市内には数多くの自動車工
場があるので、小生にとつてはもつて
來いですが、本許り讀むより、實際の勉
強の方が、アメリカに來たからには、
有益だと思ひます。
では東山會の皆様に宜しく。
又授業の要領が判りましたらお知らせ
致します。
九月十四日
編集者註 本文は私信ですが、筆者の諒解
を得て載せさせて戴きました。山田君は
ガリオア資金による米國留學生として目
下滞米中です。なお現在の同君の住處は
次の通り。
Toyotaro Yamada
Student Center
5050 Cass Ave.
Detroit 2 Mich.

機械工具 NAGOYA 工場用品
MACHINE TOOLS

作業・測定・電動工具・大工道具・建築金物
切削・螺旋・土木 工具・木工用品・船用品
ボールトナツト・工場用品・自動車用品
水道用品・半田・錫・鉛・真鍮・銅・鉄道用品

営業品目

優秀メーカー品中部發賣元

名古屋機工商會

名古屋市熱田区新宮坂町五七番地
電話 (32) 〇 八 二 五 番

シエル石油株式會社特約店

株式會社 半田石油商會

名古屋市中村区下広井町三ノ一五
電話 本局 ㊤ 1444・3066 番

結婚談義

第七期生 河合 豊

第一、私製白書

結婚というものは奇怪なものである。

是程重要な問題で然も是程ありきたりなものには他に例がないだろう。

戦前の結婚平均年齢は数え年男性二十五・六、女性二十一・二であつたらうか。とにかく現在に比べると随分早い様に思われる。

現在何故結婚年齢が遅れたかについては、種々新聞や雑誌で論議されているからこゝではそれについてはのべないことにする。

さて年月のたつのは早いもので、我が東山會も既に十一回の卒業生がでていながら、「女房と疊は新しい程よい。」などとそろ／＼不逞の輩染みて来た先輩の方々とは論外として、一応就職して二三年たち安月給乍ら首の心配がなくなると、猫も杓子も女房を買おうとい

う氣持になつてくる。もつとも俺はそうじやないと抗議される向きもあるかと思うが、こゝでは一般論をのべることにする。

最近傳え聞く所によると都會に於ける結婚平均年齢は男性では滿二十五七であるとの事故、東山會卒業年齢でゆくと六・七・八回生近邊の方々が、今や正に結婚ブームに見舞われていることになる。

世が世ならば「学士様には何とやら」で少しは氣のきいた新宅をかまえて、一年位はポーツとしている中に過ぎてしまふ新婚氣分が味わるるのであるうにと——之は單に一人や二人の嘆きでは無さそうである。

とにかくにも、アパート、市營住宅或は間借りであつても、新婚の居所を定め、隣の住人に氣兼ねしつゝも、愛をかたらい得る方々はましな方であ

る。

「健全なる人生は健全なる家庭より」という言葉が眞實を傳えるものならば健全なる家庭を営みうる人々は如何程いるであらうか。

こゝに健全なる家庭とは、大雑把に人間らしき生活を維持するに足る家庭と定義しておく。もつとも人間らしきという言葉については種々論議される所であるが、これについては疑義のある方は岩波新書「勞働法」二三二頁を御参照ありたい。

とにかく人間らしからぬ生活を甘受せざるを得ない、苔のついた諸々の獨身諸氏の實態とその心境の程は、察するに餘りがある。

趣味、研究或は仕事の内に己れ的情熱を昇華している人々は聞くに微笑まじき事どもではあるが、大多數の凡人の常時にはよからぬ噂がたゝぬでもない。

第二、試製結婚分類論

今や結婚ブームに襲われつゝある人々も、更に二年なり三年なりたてば、それ／＼恰好なミツクス・ダブルスを相組む仕儀となる。

一人一人顔形が異なる如く、一人一人がプロポーズからゴールインまで、多

種多様の様相を呈する。その多種多様の様相を、分類整理してみるのも、あながち無益のことでもあるまい。

とは云つてもこういう分類をやるうとするとさし當り私の見聞範囲内の現象をとりあげることになる。そうなる」と最大の被害者は我が親愛なる七回生諸君になりそうである。

一言お断りしておく次第である。

こゝに分類をのべる前に、七回生諸氏の特徴を紹介しておくのも、無意味な事でもあるまい。一口に云えば戦前派と戦後派を七分三分に兼ね合つてい

る。ちよつと見には奇怪な性格をもつている。更にこゝに見逃せないのは、その對象なるべき女性が、戦前派戦後派の兩派混在していることである。

こういうことになると、好むと好まざるとに拘わらず、戦後派的性格の良

悪兩面を一應肯定してかゝらねばならないのは當然として、十分理解する所までいつていなくてはならない。

この結果性格分裂的な面を多少とも持つ向が多い様である。

諸論はこれ位にして率の多い結婚分類型から若干説明を加えてゆこう。

一、身分相應型

あの位ならまあ、乃公にはふさわ

しいという型。減多に失敗をしない。何となれば先づ第一に己れ自身を買いかぶらないから。

二、理想型

我が理想の女性はまだあらわれないという型。永久にあらわれないことになりそう、本人さぞ氣がもめることだろう。案外な所で突如無條件降伏をせねばよいが？

三、何でもよい型

女であれば何でもよいと云う型。とはいつても、とんでもないのは掴まな

四、不可解型

どうしてあれで幸福そうな顔をして

結婚を階段か梯子段にして出世階を

はその反対である。
と云つて終へば簡単な様だが、そう
は單純でない所が魅力なのである。
とにかく早婚もよし晩婚も又よし、
と東洋哲學的表現をしておいた方が、

具合が良さそうである。
第四、結 論
日本人は餘りにも早く老成してしま
うといわれているから、もう十年たつ

てもこんな論題を、更に若々しい氣持
で論じられる様でありたい。もつとも
頭のはげた腰曲りの少年なんてのはち
よつと減さかねますかねえ。
(昭和二十七年九月十一日)

つれづれなるまゝに

第十期生 中野一郎

天高く馬肥ゆる候となりました。東山會の皆様には御元氣
にて御奮斗のこと、存じます。まづ貴重な紙上を借りて自己
紹介をさせていただきます。私は本會の末席を承る第十回卒
業生の中野でございます。卒業以來名古屋税関に勤めて今日
に至つては次第どうぞ今後共よろしくお願いいたします。
さて今度は委員の方から光榮にも私に何か書き立てよとの
ことでございますので非才を省みずペンを執つた次第。申す
までもなく知る方ぞ知る私は卒業免状もお情でいたゞいた位
の不勉強家ですので、むつかしいことは到底できませんが、
併し職務柄餘暇が多くあれこれ物思ひ性質でございますので
それらのことどもをつれづれなるまゝにのべさせていたゞ
くことにいたします。諸兄もすでに御存知のように税関とは
関稅法、関稅定律法、物品稅法、揮發油、砂糖消費稅法、或
は輸入貿易管理令、輸出貿易管理令同取締法等々各種の法令

に基き所謂、関稅行政を司るところでございます。歴史的に申
しますと、この十月で開港以來滿八十年にもなるのでござい
ますから、古い分古いお話です。この間多くの榮枯浮沈があり
ました。わけても太平洋戰爭中は殆どその機能を失つていま
しが戦後再開せられ、外國貿易の發展と共に現在では昔日
の旺盛に立もどつた次第です。昔から有名な横濱、神戸を初
め全國に六税関ありまして、各税関は官房、業務、鑑視、鑑
査の一房三部に分れております。鑑査部は専ら商品鑑定を行う
ところで謂わば技術をその生命といたしてあります。即輸出と
輸入に分れ商品の課稅價格、稅率、免稅無稅等の決定など関
稅業務上最も重要な部門を擔當してあります。私は及ばずな
がら第二輸入鑑査課に屬してあります。と申し上げるよりも機
械類が第二課に屬していると申した方が適當でございますしよ
うか。關稅上に於ける機械類のことについて今少しくわしく

申上げてみますと、輸入稅表をごらんになれば明らかでござ
います。我が國の斯業保護の政策上各種の機械類はすべて
從價の五十—十五%の課稅をされております。私等機械学科
の對象となるものは大凡十五%の課稅と覚えていたゞけばよ
いと存じます。但自動車、眞空管、及び時計、寫眞機、電
雙鏡等は三十—五十%であります。尙機械關係で目下大
切なものは重要機械類の輸入稅を免除する政令であります。
これはすでに御存知の方も多いと思いますが、我國の産業用
機械に使用される高効率で且國內で製作困難な輸入機械を指
定し關稅免除を行つてゐるものであります。これは機械専門
の私らにとつて又興味もあることで、名古屋でも丸山ダムの
コンクリートミキサー、日本カーバイドの回転式電氣爐、そ
れに目下申告中の王子製紙春日井工場のバルブ製造プラント
等々がございますが、詳しいことについては同政令をごらん
になれば結構だと存じます。又保稅工場制度と申すものがご
ざいます。これは課稅せられるべき輸入の外國貨物を一時指
定工場に入れて税関の監督の下に内國貨物を附加して加工混
合製造して、完成品とし再び輸出する場合の便利措置であり
ます。名古屋では豊田織機、日本車輛等がありますが昔日は
三菱なども保稅工場であつたものです。これは輸出貿易に対
して非常に貢獻する制度でありました。この様に申し上げ
てまいりますと税関とは申せなかなかに機械技術家にも關係あ
るところでございますが、何と申しましたも職務上淺くとも
廣い知識を要求されますので、この点メーカに従事せられ
る方々の様に深く、且そのもののみ研究するよろこびを味
わえないのは残念なことです。私など謂うなれば商品學的な

知識で、機械類ならまだしも時には羊毛棉花から衣料紙製品
に至るまで鑑査しているわけでございまして、例えばS.P.
Sに入る外國婦製人ドレスまでも時に拜見いたしましたこと
です。かたぐるしい職務の餘暇を以て私はよく港を散歩いた
します。そしてあれこれと思ふことを書いたり又はスケッチ
したりしては自分を楽しませている次第です。この間は米軍
艦ヘレナ號が入港した時は東山の清水兄がお出になりました
ので大變うれしく存じました。卒業以來一年有餘になります
が、四季交々港の景色はなかなかロマンチックなところがあ
ります。月給は手取一萬圓餘りですが少くとも要は心の持ち
ようで、さゝやか乍ら私は私なりの幸福を喜んでゐるわけ
です。さい分いろいろ書きつけまして失禮いたしました。
終りに當りまして母校の諸先生の御健勝を祈り、且皆様の
益々御奮斗あられることを期待させていたゞき擱筆といたし
ます。

追記、名古屋税関には私の外に伊藤昭三君も居られます。又本省主
稅局税関部には先輩の富田修氏も居らつしやることを附云いたし
ます。輸出入貿易のことにつきお尋ねの向がありましたらお知ら
せ下さいませ。職務上許された範囲内で私に出来ることでしたら
喜んでお答を申し上げます。又諸兄に於かれて各種機械類等のカ
タログがございましたら何でも結構ですから御寄附下さいませ。様
改めてお願い申し上げます。
(名古屋税関)

(名古屋税関)

設計 施工
 工事
 煖房・汽罐・築爐
 冷房・水道・衛生

惠民工業株式會社

ケイ ミン

名古屋市昭和区広見町一丁目七番地
 (滝子電停前東海銀行東)
 T E L ⑧ 3 7 4 9 番

川崎製鐵株式會社指定問屋
 各種帶鋼磨鋼材並ニ一般鋼材

共成商事株式會社名古屋出張所

名古屋市 中村区 広井町二ノ四六(八洲ビル)
 電話 西 ⑤ 1 1 2 8 番
 本社 東京都中央区日本橋室町二ノ四(三和ビル)
 営業所 東京都台東区下谷御徒町一ノ五八
 支店 大阪市北区太融寺町一〇一

三鬼さんのことども

第十一期生 鈴 木 章 平

八幡の三鬼さんが亡くなられてからもう半年にもなる。日航機「木星」号の遭難を報じて驚愕させたのは、櫻花も香ばしき四月九日、私が廣畑の地に新生活の第一歩をふみ出してから丁度一週間目であつた。三鬼さん程皆から愛され、慕われた温情溢るる人はなかつた。学園を去り実社會の一員となるに當り鉄鋼界への希望をためらう事なく私に踏み出させたのも三鬼さんへの景仰と偶像が心の隅に忍んでいたなればこそで、入社早々のこの悲報には少からぬ打撃に心の柱の崩れるのを感じたが、同時に鉄鋼への愛着——誰にも負けない愛着——を強く意識して無上の生甲斐を覺えたのであつた。勿論一度たりともお会したわけでもなく且現在は八幡と富士と分割しているものの舊日鉄の社長とし鉄鋼界最大の指導者として、更に經濟界の巨星として三鬼さんの人となりには日頃尊敬の念を厚くせずには居られなかつた。三鬼さんは明治二十五年の福島縣生れ、盛岡中学から二高、東大法科を経て大正七年二月、長い鉄鋼生活最初の足跡を釜石に印せられた。当時釜石は田中鑛山株式會社に屬し、ク王者が乞食か々と云われる鉄鋼業の經營の困難さを身を以て經驗された。昭和九年日鉄が誕生して釜石もその傘下に入り、東亞の風雲急

をつげる十四年五月朝鮮の清津製鐵所建設のため渡鮮するまでの釜石時代は所謂「釜石の美風」の形成に全力を盡され、釜石の傳統と新しい歴史の百人の中に消え去らぬ足跡を残された事は釜石を去るに當り或人が、
 薰風の空に過りてみきたかし
 葉末の露を戀ふる草々
 と詠じて盡きない名残りを惜まれた事にもよくうかがい知る事が出来よう。清津での三鬼さんの頭張り奮斗は今でも人々の語り草となつて居る。天運なく敗戦と共に烏有に歸したりとは言え、「若鮎の様な製鐵所を作ろう」と挺身難に當り熱情を吐露され十七年五月北鮮の一角に高爐の火入れを行うまでの意慾と潮氣は恐らく三鬼さんの一生のエポックであつたに相違ないと思う。当時清津より一足先に建設に着手した廣畑は已に部制も確立し所謂大物がすなりと並んで居たのに対し、凡ゆる方面の寄合世帯を引くるめて三鬼さんを中心として見事なスタラムを組み、云わば下手な楽團をして一流の交響樂團のハーモニーを演出させたわけで、タクトを振る獨特の味こそ、さぞかしであつたらうと憶ばれるのである。やがて戦争酣の十八年一月雪深い清津から八幡へ転ぜられ、これ

から愈々三鬼さんの真髓を發揮すべき本舞台に乗出されたのである。

年去り季移り星霜十年私は今こゝで戦時戦後の三鬼さんの勞を果述し讚美の麗句を連ね、故人を讃える資格もなく又餘りに残すすぎ。遺影を靜かに拜すると「まだなすべき事は澤山残して来たがまあ男子の本懐だよ」位の事をおつしやつてその温顔がふとほころびそうな錯覺を感ずる。人情と親切の纏詰の様な人、その抱擁力、慈味、ハツタリのない誠実さ、夫に加えて恩威並びなき組織力、統制力の妙は三鬼さんを單に鉄の「エクスパート」としてのみに抛つて置かなかつたのは定に当然であつた。あゝ、悲劇の三原山は一瞬にしてこの巨人を降いて遠くはるかに幽明を異にさせた。悲愁尙さめず後人の景仰は未長く祈りに續けられる事であろう。三鬼さん去りて半才、而して……鉄鋼界の歩みは極めて複雑で時は瞬時の逡巡を許さない。九月十七日の朝日の經濟欄は鉄鋼業界の開幕と題して「力と力の衝突、八幡、富士が攻防合戦」と大々的に報じた。即ち最近の鉄鉄値下とクズ鉄の食いのばし対策がからんで表面は平靜を装つて居るが内面的には激しい生存競争となり業界再編成がクカクとクカクで行われようとして居る。現在では八幡と富士との間には大きく競合する製品關係はなく対立せりといつてもなお富士は全國で外賣り鉄鉄の八割を占め、八幡は鋼材で壓倒的な地位にあり夫々獨自の分野は占めて居るとは云え今年明年と兩社の近代化合理化が進むにつれ兩社の製品競合度は高まる一方と見られる。更に話題の千葉製鉄所の建設を急ぐ川鉄を初め住友、尼鉄、中山と關西の平炉メーカーがやはり今年から明年へと漸

式を行つたが數日を経ずして廣畑を分割後の富士に引繼いだ事はその人柄を偲ぶに充分なるものがあつた。三鬼さんの胸中察するに餘りあり、自分の時代に心ならずも分割した八幡富士兩社を、いつかはもう一度自分の手で日鉄の昔に返し度いと悲願に燃えて居られたからこそ、國家のために國民のために、三鬼さんの確信は依然として鞏固であつたものと思ふ。現在の状況は今後どう展開するか容易に判断出来ないにしても自立經濟下の國際競争力の涵養という立場から獨禁法や事業者団体法の大巾緩和乃至廢止が実施せられつつある情勢をおしつめてゆくと、案外早く三鬼さんの夢が現実性を帯びて來るかと思ふに祈念して居たのであるが、昨今の状況は微塵もその様相を示さず、却つて反撥の度を強めつつあるのに悲哀とも諦觀ともつかぬ心の亂れに苦しむわけである。強氣で剛腹な所の多かつた三鬼さんがこんな迄繊細な神経を使われたその夢の落着く先を見ずして逝かれたこと、これこそ日鉄社長三鬼さんの最大の恨事であつたに違いない。

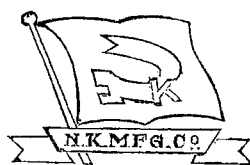
(富士製鉄廣畑製鉄所勤務)



次鉄鋼一貫体制を整える事になつて居りその他平炉メーカーが八幡、富士とどう結びつくか、又大同鋼材以下の單壓メーカーがどこまで獨自の立場を守つて行けるか、結局の所鋼管住友の様な特殊な立場にあるものを除き鉄鋼業界は好むと好まざるとに拘らず八幡、富士兩系統何れかの色彩を強くしなければならぬと見られる。そうでなければ八幡、富士の対立を通して迎へつつある再編成の線から脱離し、その後に來ると見られる鉄鋼業のカルテル化に參加しえないというわけだ。云々……

日鐵解体して二年半、三鬼さん逝いて半才、骨肉の間柄とも見られた兩者のこの確執は私をよく悲しませ、且抗すべきもない奔流の如き時流の巨大さを嗟嘆せずには居られない。日鐵解体處理三鬼さんを悩ませた問題はなかつた。日鐵分割はあの頃の右領政策からみて理否を超えた至上命令であつたが三鬼さんとしては理屈の上で分割の必要はおろか、夫は日鐵乃至日本の鉄鋼政策として決して得策でないという信念を抱き、且つ情の上で昭和九年以來日本經濟に大きな殺制を果して來た日鉄を、敗戦の結果とは云え自分の時代に自分の手で分割せねばならぬという事に対し日鉄の諸先輩に対し申訳ないという責任感に日夜苦しみ悩まされたと傳へ聞く。生産の再開、分割問題、勞働攻勢等々その苦勞は筆舌に盡し難いものがあつたに違いない。

日鐵の分割はこうした三鬼さんの努力にも拘わらず右領政策として断行され今日八幡、富士を生み、而も賠償指定設備として指定されて居た廣畑の再開に日夜關係方面との折衝に努力し、日鐵の分割直前に之に成功、日鐵の名に於て火入



機械工業用双物・ベニヤ製造用双物
木工用機械双物・斷 裁 庖 丁
製 紙 用 双 物・金 屬 切 斷 刃

古い傳統と新しい技術

木材双物製造株式會社

名古屋市瑞穂区塩入町三ノ七
電話瑞穂3610・3611・1148番
東京・本社 名古屋・大阪

ナ イ ヤ チ ケ タ ノ

石 砥 削 研 ケ タ ノ

日本陶器株式會社

取締役社長 佐伯卯四郎

専務取締役 岩田莊一

名古屋市西区則武新町一ノ一

代表電話西局㊟1571・2571番

卒業雜感

旧制三年

玉井清一

その一

ウン・ドン・コンと云う諺があるのだ
そうです。今春第十一回卒業生を送る
席上、生源寺先生が学窓を巣立つ諸兄
への饒として發せられた奇警の一句で
送る側の一人として同席した私にも未
だ耳の底にこびり付いて離れない他山
の石で、もありませう。

現在こうして卒業の目睫の間に迫つ
て顧ると、どうやら私の過去も文字通
り運・鈍・根の集積であつた様な気が
します。ウン良く舊制最後のクラスに
かじりつき、ドンオ相應にさしたる事
故も無く、砂を噛む様な講義をコン気
よくノートして、どうやらこうして『舊
制最後の卒業生』としての感想を求め
られる資格を備え、曲りなりにも失業
證書ならぬ真正正銘の卒業證書を給わ

つて、背廣も着州出来る目鼻がつきま
した。是も一重にウン良くドンオの私
をコン気良く教へ導いて下さつた先生
方のいらつしやつた爲と常に感謝して
居ます。

特に二、三年前には最も景気が良か
つた応用化学系を始め全般的に甚だ就
職事情不振の中で、私達機械科系の就
職は先生方の御努力にも依つて年内に
は全員決定の見込も立つて居ると云う
事は、実社會への第一歩に當つて眞に
好運に恵まれたものと思ひます。

勿論そうは云うものゝ今後如何なる
社會的變遷や經濟的變動があるか計り
知る事も出来ません。然し私達も是か
らは先輩の方々の御指導の下に先人の
跡を辿りつゝ、自己の持場々々に於て
ウン・ドン・コンの續く限り最高に生
きるべく努力したいと思つて居ます。

その二

爆撃・敗戦・混亂・虚脱をして除々
に安定へと世相の推移も幾多起伏を重
ねる間に、過ぎ去つた私達の学窓生活
はあらゆる点で、否でも応でも社會と
の關聯の下に考へるべく強制されて來
た。其れが幸であつたか、不幸であつ
たかは知らない。だが何れにせよ戦後
の学生運動が特異な様相を示しつゝ、發
展して來た必然性が深く社會に胚胎し
て居るのは疑いを入れぬ所である。

戦後日本の左翼全盛は學園に於ても
廿四年の大学法反対斗争で最高頂に達
した。然し其の餘りに露骨な職業的極
左偏向に抗して学生民同の擡頭を見た
のも同じ頃である。そうした混亂喧騒
を切り抜けてどうにか大学の夢はかな
うと思つて忽ち朝鮮動亂に平和の夢はかな
く破られると共に、レットボージ・イ
ールズ聲明等の諸問題に矢張り早やに
直面させられねばならなかつた。

然し私達の学生会でも学生の本分に
悖らぬ穩健な結論を引き出しつゝ、スト
騒ぎも無く歩んで來た事は幸いであつ
た。とは云え一時は幹部の極く一部の
人々が全学生の意志を無視して強引に

引張つて行こうとした爲、学生大會は數度に亘り流會すると云う慘憺たる結果を招來し、自治會が壊滅状態になつた事があつた。但しその後又改めて再發足し、健全なる目標を目指して活動しているのは喜ばしい事、思う。今後の發展を祈りたい。

だが一度眼を外に向けると其處には複雑怪奇な様相を呈した学生運動がある。それは東警戦・早警戦とか云う言葉で表される様に、学生と警官の対立である。現在はやゝ小康状態を保つてはいるが詮る所日共が学生と警官の対立から引いては学生を社會から浮上らせその反権力・反社會的感情を昂進させる爲の策動であつて、どうやら是は年少大学生等のストーム気分や特權意識に合流して、ある程度の戰略的成果を收めたと思わせる。

更にもう一つの特長はその奴隸的敗北主義の平和論である。即ち「例え自分の親子弟妹が如何な目に遭はせられようとも自分の命さえ助かれはよ」と云う甚だ無節操、無氣力な思想で、それには第二次大戦の不快な記憶から破防法を治安維持法に對比させて再軍備一徵兵一原爆一さけわだつみの聲一敗戦と云う連想を刺戟する事に依つて虚

脱奴隸症狀に墮せしめ、結局は日共戦術の片棒を擔ぐ事になる。勿論再軍備それ自体を論ずる積りは無いがこうした無氣力、無氣概は戦争の申し子たる我々世代の特長かも知れない。今後はその上に社會變動の反映として共産主義以外にインターナショナルイヌされた民族主義の洗禮もあろうし今後の学生運動がどの様な道程を歩むか興味ある課題だと思ふ。その点今卒業して終う事は甚だ心残りである。

その四

私の様に運・鈍・根と狐ウドン的な生活を送つて来た人間をも含めて私達のクラス程多様性に富んでいる例は些か少いかと思ふ。スポーツの分野では学内のありとあらゆる運動部の中で私達クラスの人間一人も加入していない部は先づありません。野球・庭球・排球更にボート・ヨット・馬術等々。それも相當な指導的存在として活躍して来ています。その上クラス内でのスポーツの交流も盛んで実験室別對抗の野球大會も屢々行い、又工學部の野球選手權も保持して居ます。勿論中には、唯物論者もあれば観念

論者もあり虚無主義者もあれば基督者もある。或いは技術萬能主義者も享樂利那主義者も、さては我利々々主義者もあると云う状態ですが、然し總てこうしたフェアプレイ精神に培われた友情に依つてクラス間の精神的親和力は強く趣味、世界觀等の相違を超越して一つのなごやかな雰圍氣を形成しています。そうした中から一つの結晶として生れ出たのがクラス雑誌「LUB L I O A N T」で全員の投稿を集めて相互の潤滑の役を果しつつ、間もなく第四號の編集に掛る筈です。

工學部自治會に於ても私達のクラスの比重は甚だ重く、常に指導的立場にあり、健全なる学生自治活動の爲に果して来た役割は特筆されるものがあつたと思ふ。

その他趣味の面から覗いて見ますと甚だ多子濟々、非常に廣い領域に亘つています。晝休みとなると実験室の一隅から合唱の洩れ出るを聞き、その横では囲碁大手合の真最中、ダンスの盛んな事も又学内隨一で、クラスパーティーも回を重ねる事數度に及んでいます。

そうかと思ふと他方では名大唯一無二の謡曲同好會も級内に結成されて毎

週美聲の鍛錬に餘念なく更には茶道に和敬靜寂を求めて精進するグループもあります。その他ヴァイオリンの名手とか山案内にかけては無類のエキスパーも居り更には遠州流華道の師範某君が異彩を放つて居ると云つた次第で

す。かようなわけで非常な多様性と極端な対照性を持ちながら、金体的には実になごやかに統一された雰圍氣を持つて居るのが、私達舊制機械科最後のクラスだと思つて居ます。

三年間に寄せて

旧制三年

橋本穆

願れば昭和十二年以來延々十六年の長きに涉つた学生生活も、後半歳を餘す許りとなり、只一途に學校へ通つた微笑ましき中学生時代より、幾多の良師先輩悪友の感化を受け、漸く曲りなりにも自分の存在を意識し始めるに至つた現在迄、吾々らよくまあ辛抱して来たものと思ふ。と同時に、永遠に我許を去つた夏休に、限り無き惜別の情を感ずる。或は学生生活を惜む大半の理由は其處に在るのかも知れない。

元來、所謂学生生活と云うも當然経過すべき一つの過程に他ならず、自己

の範籥以外の期待を其れに懸けることは可笑しな事だと思ふ。尤も斯う云う怪しからん心掛で終始した爲に有難い機縁に逢着する機会を失つたのかも知れず、何か心に懸るものはあるが、大局的に見て上の様な考えに間違があるとは思つて居ない。学生時代とは門の内側の階段に過ぎない。扉を開くのは來年三月であり道を歩くのは其の後の事である。

僕が工學部なるもの志願した理由は理學部へ行つたとしても他人の糟粕を舐めずに濟す自信が無かつた爲であり

機械科へ入つたのは有機化学の試験が出来なくて応用化学へ入れなかつた爲に他ならない。従つて其の動機たるや不純唾棄すべきものであろう。然し大學本來の面目から逸脱した面から見れば、結果的には寧ろ幸運であつたと云う事が出来る。大學と云う所は不思議な所で、無から有を生ぜずと云うエネルギーの法則に反して、一応ノミナルにはあるが、技術者と名の付く得態の知れないものを製造する。其の正体は恐らく本人にも死ぬ迄判らないであらうが、それを兎も角も一人前になる可能性ありと考へて貰える事は全く恐縮な話で、その期待に沿ひ得るかどうか我々ら全く空恐しくならざるを得ないと共に、蠻勇を鼓し愚腦に鞭打つて期待の萬分の一にでも沿ひ得る様努力する事を心に誓ふものである。脳と心とは住む世界似て非なるものがあるから、何を行ひ、何を誓はうと異論の出る筈も無く、二つの世界よりは遙かにうまく行つて居る事は不幸中の幸と云わなければなるまい。

大學生活中残念に思つて居る事の最大なるものは勿論僕の性格の悪さに起因するものではあるが、どんな下らない事でも良いから(大体下るとか下ら

ないとか云うのは第三者の立場からの話で、本人にして見れば一様に対象であるに過ぎない。全身の情熱を傾けて文字通り没頭してしまつた事のない、謂わば若さに失けた所であると思う。本當に優れた人物であるならば、周囲の事情にも毅然として居れば、悲しい哉凡人には弘法も「下手な中は筆を選んだ」とゆう叱諭の通り、環境の力も又大きいのである。元來学校そのものには情熱を注ぐ可き何の魅力も無く学問に対しては冒瀆の囃りを免れずとして、啼観することこそ實は責任の大半で、自然に斯う考ふるに至つたと云う事實こそは恐る可きものと考へられる。

青年に冒瀆されてもミューズの神は怒らないであらうし却つてその夢の爲に文字通り音楽を奏でて呉れるものと信ずる。敢て理想とは云わない。大いなる夢を抱く事は青年の特権である。残念な事に恐らく千萬の夢も一つ結實すれば上出来と云うのが現實であるがそれを知りつゝも尙夢み、夢に近附こうと努力し苦勞する事こそ青年の象徴であり、又現實に対する悲壯なるレジスタンスではあるまいか。

今にして思えば迦去三年間に夢は無

かつた。只全ての夢を卒業後に懸けていたのである。「卒業すれば」を只一つの目標にして此の三年間を過したとは何とお寒い事であらう。我々が呆れる程である。兎も角も「卒業する」の夢は確かに控えた今日「卒業した後」の夢は確かにある。只それを卒業後如何に發展させ、變化させるか、問題であるが、十年の後に再び此の自嘲を繰返さなくても良い様に、悲壯なる努力をする心算で「今は」居る。

交友の面から見れば、級友の半ばを八高時代と等しくする關係上、未知に接するといふ新鮮味は全く味わえなかつた。當初八高時代の親しい人達から殆ど離れて、又友人の作り直しかと随分淋しい気がしたが、漸く一、二の親しい人を得た事は大変嬉しい。然し大学時代の友人と云うものは良く云えば社會的で、本當の事を云えば、極めて浅い關係にしか無いと云うのは確かな事であるらしい。結局會つて懐しきを感じ、心置き無く語り得るのは、全て八高時代の友人である。結局淺薄な自己の殻とも稱すべきものが邪魔をした結果であらう。云わば情性の交際とも云い得るもので、或は共感を呼ぶ主題をお互に持つて居なかつたと云う事も

あろうし、又容易に心を開く純真さを失つた結果とも云い得るのであらう。(尤も純真とは馬鹿の代名詞なりとゆうシニカルな意見を述べた人も居るが)それは確かに生長(進歩に非ず)ではあらうが同時に若さの喪失であるとも云えよう。若さとは何も酒を呑む事では無い、自分に殻を被せず体当りで行く事こそ青年の執るべき道であると思う。

最近新聞を賑わせた学生運動の問題は我々の所では全く不活潑であつたが、これは確か学生自身の意識の低さによるのかも知れない。然し明らかに笛吹きを利用して懸念のある(事實利用された)踊りに参加するのが自意識を持つものを行う事であらうか。それに情熱のハケロを見出すならばそれも止むを得ないであらう。(青年とは一面混沌を意味するであらうから)然しそれならそれで勝手に自分の責任でやればよいのであつて、縦に他人の附和雷を求めぬが如き、良識ある者の行う事では無い。まあこんな意味で僕自身然う云う問題に真鍮な興味を持ち得なかつた事を別に何とも思わないしそれで意識が低いと考へた事もない。或は結局信仰心の欠除によるものかも知れないし懐疑的悲觀に取り憑かれてい

結果かも知れない。一面から云えば技術者の卵であるという境遇から来る無責任さによるものであらう。

以上くどくどと話らない繰り言を述べたが、何等の頭腦的發展を齎さず、又出来るだけ学生という意識を脱せんとして脱し得なかつた俯甲斐ない大学生活を終らんとするに当り、兎に角息子をこゝ迄育てて呉れた両親に心からの敬意と感謝とを捧げて慘憺たる一文を終らうと思ふ。



新制第一回生として

新制四年

外山茂樹

木の葉が散つて再び芽をふく頃には学業を去らねばならない。後半年の命と知つた時、本當に「生きる」事を始めた映画の主人公の様に今になつて始めて、充實した気持にならうと「自己判断」に迫るのだが、未だ結晶で云えば核を認めたに過ぎない過程にあつて本當の感想は纏まらなう。

× × ×

吾々が教養部を了えて機械科に入つて来たときに、小林先生の訓話があつた。「諸君は今機械科に入つて来て一生懸命勉強しようと思つて居るが、その貴重なものをすつと持続けて頂き度い。」と云う事を云われた。當時まともな考えもなしにいた私なんぞは大變面映ゆい経験をした。けしからぬ話であつたがいゝかげん、いゝころ八兵

衛な気持で、教養部の単位の員数を揃えて来て、「はい、只今参りました、以上終り。」つてな所だ。まさかそこまで自己侮蔑をしなくてもよいと思ふ(本学にもそんな奴があつたか、と云われても損だから)が、今様風に註釋するなれば、しつかりした筋金を通つたらん、と云う譏りは私の場合、まぬがれなかつたかも知れない。尤も「吞兵衛」とか「三文文士」とか云う落書を見逃されなかつた小林先生だから、そう云つた「いゝころ八兵衛」組をも含めて、一つのドクトリンを掲げられた事と思う。

したがつて第一課は、学問に対する懷疑と、このドクトリンとの対立を、内的調和によつて超える事、換言すれば、今の自分から、一生を通じての或るタイプの自分を形成する産褥の陣痛

を經驗するに就いて、その目的を見出す事から始めなければならぬと云う事になった。

この頃の思想的背景と云えば、澎湃とおしよせた、共産思想とか、拜米思想の去つた後、それに対する批判、懷疑が風靡していた。至高善と云うものを、年期を入れてその職域で達人、名人となる事に求める、マルキシズムに傾いて、勇敢に取組むと云う自信も、勤勉も持たなかつたし、反面キリスト教のドグマに信従する謙虚も、信する者の有する特有し傲慢な感傷を解する善意も持たなかつた。——こう云つた空白の中に、知的な側面に興味を持たないままに、悪い意味の懷疑主義にひたたり、希望をうちくたく哲学に身をよこたえて、無の觀念に達したと云うより、氣になり時代のデカダンスに陶酔すると云つた様な、或いは世の中はこんなものさよと云わんばかりに悟りきつて、「一萬圓の月給と、月並の女房」が目的とばかり低俗な實利主義に陥る様な急迫感が、常に足元を去來するのを經驗した。この中をどの様にして通つたと云う事は、私は文學者ではないから記述する能力もないし、又多くの人はその蹉跎なく進んで來ているので

あるから、記述する興味もない。たゞ私が云い度いのは、時代的背景に或いは制度改革の裏に、そう云つたスラングに陥りやすい要素があつたということである。

× × ×
扱て、新学制に対する風當りであるが、復古調の機から大變荒い様である。見識の足りない私如きが、口を入れる場ではないかも知れないが、大企業解体並みに、大学も地方に分散せられ、一年短縮されている。その上再び社会の方は昔によりをもどしかけているのだから社会の要求に沿い得るかどうかを怪まられるのは止むを得ないとして、学制改革によつて従來の形より斷層を來たしているとは思われない。成程胸に青雲の志を抱き、笈を負うて東都に學ぶと云つた様な物々しい時代に較べれば話は別であつて、今はそう云つた事は日常の茶飯事なので、それに対する多少の動搖は經驗した。しかしこの經驗の中から、生活の智慧というものをより多く得たと云う事は、我々にとつて大きな收穫であつた事と思う。

スポーツ

旧制三年 河路俊昭

その名が示す如く複數で數多くの種類がある。どんな人でもその中の一種位の名は擧げる事が出来る、大部分の人は自らやつた事があるだろう。走つたり投げたり跳んだり原始時代から原子時代へ至る長い間、人類にとつてそれが出来る事は大きな喜びであるに違いない。それより出發しそれにある制約(ルール)を設けてそれに従つて各種のスポーツが成り立つてきているのだと思う。スポーツには一人でする種目は少い。大抵の場合には相手があり互に勝利を得んと努力するのである。相手が必ずあるとは断言出来ないが、多くは相手即ち競争者があるわけだからそれを前提とすればスポーツに於ては、やるからには勝たなければならぬ。勝つためにはそれ相當の努力を要する。従つて勝利に至る過程の適不適によりスポーツそのものが左右されると云つても過言ではあるまい。過程を無視して勝利のみを得んとするから、そこに種

々の害毒が生ずるのである。勝利を得てこそと云つたがこれにしても唯、勝つだけでは駄目だ。前述の過程即ち適切な努力が大切だ。それでこそスポーツが人類に大いなる力を與えるのである。スポーツを愛好し、自分の心と身体を糧とし、明るい太陽と清らかな空気を友として純粹に行う事が出来る者。スポーツを利用して社會的名聲や物質的利益を得ようという邪心を持たないでその様な誘惑をしりぞける強い意志を有する者。審判の判定を重んじ感情に支配された行動をとらない事が出来る者。堂々フェアプレーで相手を尊重しつゝ、自己のベストを盡しその成果に満足出来る者。といった様なスポーツマン・シップを有する人間となり更に競技場にあると同様な態度と精神をもつて生活し社會のよい形成者となるのである。かくしてこそスポーツの眞價が発揮されるわけである。さうは云うもの、世には勝つ事の方に専念し自己の健康を損なう者。フェアプレーでなく相手を傷つける者。得た腕力を時と場所をかまわずに振い他人に迷惑を及ぼす者。等が存在しスポーツの名を汚す事が時々あるのは遺憾である。スポーツのため卒業出来なかつた

母校ニユース

機械科の現況

先づ最初に、教授陣の御顔ぶれを述べてみます。と申しますのは、昨年工學部に新たに化学工學科が設けられ、それに伴つて機械工學科の教授方や研究スタッフの若干の方々がそちらへ移られて、陣容が多少變動致しましたからです。次に現在の講座編成を述べてみましょう。(敬称略)

講座名	教 授	助教及講師
第一講座	小林 明	高濱平七郎 (二期生)
第二講座	土井 靜雄	春日 保男
第三講座	生源寺 順	古屋 善正
第四講座	下山 美徳	山本 敏男 (四期生)
第六講座		村上 光清 (二期生、講師)
第八講座		古市 亮藏 (五期生)
		加藤 仁 (二期生)
		下村 龍助 (二期生)
		藤本 義雄 (七期生、講師)
応用力學第一講座		西村 融

化学工學科の新設、及びその他によつて機械工學科の籍を脱せられたスタッフは次の方々です。第五講座の岡村、井伊谷の兩先生、並びに応用力學第一講座の坂先生(一期生)、応用力學第二講座の井町先生の方々は化学工學科へ移られ、第七講座の古賀、二宮兩先生は応用力學の方へ移られました。今述べました他に、研究室にいる同窓生もかなり多数あります。すなわち、第一講座に寺田 清水兩氏(共に十期生)、第二講座に川合氏(七期生)、第三講座に太田氏(九期生)、第四講座に伊藤氏(五期生)等が夫々の研究に勵んでおられる様です。なお第五講座に居られた白戸氏(五期生)は岡村先生と共に化学工學科へ移られました。

機械工學科の各研究室は高蔵にある古市研究室を除いて殆ど東山に集まり、各研究室間の交歓や討論なども次第に盛んになってきました。

以上機械工學科のスタッフを本会に関係深い方々を中心に素描してみました。(C・I生)

木工機械各種
製造販賣
ペニヤ機械各種

株式會社 太平製作所

名古屋南区東海道線笠寺駅前

取締役社長 田中均一郎

米英向輸出合板
車輛・造船用板
一般建築用合板
品質本位



東洋プライウッド株式會社

(Toyo Plywood Co. Ltd.)

本社 名古屋市中区桜町2ノ5 (相互ビル5階)
電話 ④ 6513・6695・7830番
工場 名古屋市熱田区六野町1
電話 ⑧ 5655~56・3861番
東京出張所 東京都中央区築地 (油化ビル3階)
電話 ⑤ 1803番

者もある。これは勝利の陰の犠牲者である。勝たねばならぬ。それには練習しなければならぬ。そのための時間により勉強する時間が少くなり、その結果に至るべくして至るのである。だから一言にスポーツと云うけれども、いざそれをやるといふ段階に入るとなかく厄介である。勿論そのやり方如何によるけれども、近來流行のレクリエーションとしてやるのならばそこには何等の弊害も生じないだろう。しかしそれにより得る所も多くはないだろう。レクリエーションには苦勞は伴わない。故にその後に来る楽しみも少ない。苦勞が多ければ多い程その後の楽しみは大きいのである。色々な考え方はあるわけで、スポーツをする時には始める前にこれらの事をよく考え自己に最も適するやり方をとるのがよいだろう。そして然る後にそのやり方を発展させよといふ心と身体を得る様にすれば、スポーツをした事がその人にとって大なるプラスとなるだろう。

運動部短信

一、ヨット部

青空にもくもくと湧上る入道雲、その下を真白いセイルに風を一杯はらんで、白波をけつて進むヨット、若人の海への憧れをのせて走るヨット、何分ロマンティックな夢の様なスポーツと思われの方がもあるかも知れません。しかし現実のヨットというものはそんな生易しいものではなく、自然の美しさや満喫しながらも常に自然の猛威の前には屈服しつゝ、男性的なスリルを味い或は日のかんかん照りつける今にも煮えたぎる様な海の真中で全くの無風にたゞようその忍耐、等々何しろ自然を相手にするだけに陸上では味わい得ぬ種々な経験をされるものです。前おきはさておきまして現在のヨット部はスナイプ級1、A級デインギー4という、まことに貧弱なものでありますが、部員数は五十名以上の多きに達し、只今大学常局へスナイプ2、デインギー2の新規購入を懇請している次第です。何と云いまでも艇はヨットマンの生命であり、艇無くしては恰も野球にボ

ールが無いのと同じであります。何しろ吾々の乗る小型ヨットでさえ、数萬圓もする現状では学校當局ばかりに頼るわけにもゆかず、部員の負擔或いは諸先輩の御援助にもよつているのであります。前記の如き多額に上る爲、思ふ様にはならない状態です。昔からゴルフと並んでブルジョアのスポーツとされては居るだけに、金の面では部員が非常な苦勞をして居ります。さて次にレースの状況であります。現在日本で一番古くから行なわれていると云われる対同志社大学戦、京都大学戦、成蹊大学戦、それに全学の阪大戦にも参加して居ります。その他現在滋賀大学から申込があり、又東京大学とも定期レースを行う様な気運も起つて居ります。大會では全日本学生ヨット選手權大會、七旧帝國大學戦、その他國体、名古屋市民選手權、中部インターカレッジ等々学生の出場出来るヨットレースには大抵出場して居ります。定期戦今年度は同志社には負、京都、成蹊には勝、阪大には負けて居ります。來年三月卒業の工学部の部員が多い爲、卒業買除等で、同志社、阪大等の場合には遠征に参加し得なかつた者多数あり、實に残念でした。しかし全日本学

生ヨット選手権大會(二十七年年度琵琶湖)ではレギュラーメンバー全員が出席し、前年度までの成績に比して相当上位までのしり、又その直後同地で行なわれ、九州を破つて優勝の榮冠を獲りました。名大ヨット部始つて以来、初めて全國大會に優勝する事を得、惡条件を克服し乍ら部員一同益々張切つて居ります。中部水域に於けるレースにつきましては名大は壓倒的に優勢を示し大抵のレースにカップ等を得て居りもす。經濟的な苦難と戦い乍ら今後の發展を期して居ります。

二、ボート部

(片寄記)

終戦後餘りバツとしなかつた名大ボート部も、二十五年、旧四高・八高の且つてのインターハイ・クルーの入学するに及び俄然活氣を帯びて來ました。即ち二十五年、名古屋で開かれた第五回國体にはナツクルフオアで強剛慶應、北大水産等をラストで拔返し見事に優勝したのを始め、二十五年、二十六年度の戸田橋に於ける全日本選手権レガッタでもフオアでかなりの戦績

を示して來ました。このため部員數も増え、大学本部及び先輩組織である艇友會の方でも種々と力を入れて呉れる様になり、競争以來痛むまゝになつていた艇も退々と修理されて來ました。そして今年の夏にはオールが新調され又今迄雨漏り腐朽の甚しかつた舊名大艇庫も綺麗に改装され非常に居心地のよい艇庫になりました。

しかしボートの華は何と云つてもエイトであり、エイトで強くならなければ本當に強いとは云えませんが今年から三年計画を立て、二十九年には何としてでもエイトの優勝旗を中京の地に持來るべく、各部員必死で猛練習をやつていますから御期待下さい。

戦後の戦績は大凡左の如くです。

- 廿三年 対阪大戦 負 於櫻宮
- 廿四年 勝 差四艇身於庄内川
- 廿五年 勝 差二艇身於櫻宮
- 全日本選手権 一位但コース侵書で失格。
- 第五回國体 優勝 於中川運河
- 廿六年 対阪大戦 負 差一艇身於庄内川
- 但全日本選手権と重なつたため、フオアのクルーは出場せず。
- 全日本選手権 フオア準決勝で負
- 廿七年 対阪大戦 勝 差一艇身於櫻宮
- 海上マラソン 優勝 於名古屋港外
- 全日本選手権 エイト 予選で負

東山會役員

昭和廿七年四月改選

- 會長 生源寺 順
- 理事 長 1 豊田幸吉郎
- 副理事長 3 今村 康人
- 會計理事 3 小原 茂信
- 編集理事 4 田島 收
- 事業理事 2 水谷 清作
- 庶動理事 1 坂 萬臣
- 會計監査 1 杉浦 隆一
- 會計補佐 7 河合 望
- 編集補佐 2 高瀬平七郎
- 事業補佐 3 吉川 文岳
- 庶務補佐 10 寺田 耕
- 各回幹事
- 一回 栗山 道龍
- 二回 荒木 直繁
- 三回 落合 芳雄
- 四回 山本 敏男
- 五回 白戸 紋平
- 六回 大西 陽三
- 七回 河合 望
- 八回 梅本五十文
- 九回 寺田 耕
- 十回 秦 建之
- 十一回 鈴木 惠三
- 織田 昌信
- 高瀬平七郎
- 吉川 文岳
- 森 圓藏
- 伊藤 忠哉
- 豊田章一郎
- 藤本 義雄
- 安藤 芳郎
- 志水 昭夫
- 鈴木 惠三

東山會東京支部 總會報告

支部幹事 川浪俊平 第三期生

第一回の東京支部の總會は昨年秋、東京驛のR.T.で盛大に開かれましたが、今年は新涼の九月二十六日お隣の有楽町驛前の大丸ビヤホールで第二回が開催されました。總會は年に二回位やりたい等という熱心な方があつて、中でも栗山先輩なんかは早くから幹事をせき立て、居られたのが身邊多忙でつい延び、居られたのが過ぎてしまいました。

東京在住者は名簿の上ではざつと九〇名、出席者は押田勇雄先生以下三十三名、高橋先生は講演会で地方に御出張で残念でした。皆さん非常に元氣で如何にも工業國家日本の復興を感じさせるものがあり、押田先生も、「皆さんとても景氣がよさそうで大いに安心しました。」と喜んで下さいました。又吾々一同も先生のユーモアに富んだお話を伺つて非常に愉快でした。且つ昔の仲間と久しぶりに落合つて、昔の氣分に返つてくつろいだ時間を過すのも一年に一度の楽しみとして意義あ

るものでしょう。

押田先生は会場がいつも驛に近くて便利だと褒めて下さいましたが、その反面あまりに近過ぎて雄音が耳障りであつたのは残念です。又昨年幸運にも御出席下さつた小林先生始め諸先生方のお顔の見えなかつた事は昨年に較べれば淋しかつたのですが、その代りピールのびんが人の数だけ並んだのは賑かだつたと思ひます。来年の幹事は御苦勞ですが先生方の御上京の折を前以て見計つてやつて下さるとよいと思ひます。

今年のニューフェースは第十一回生の二名。他十数名、時間の都合でニューフェースの皆さんだけに、自己紹介をして戴きましたが、番外として四回生の手島君の米國帰朝談をくさり元氣一ぱいに聞かせてもらいました。その中に次第にビールの微醉が廻つて、中には前以つてウォーミングアップをして來られた方、就中小柳勝さん等があつて、卓上ようやく氣分が出始めた頃惜しくもシャットダウン。六時四十分頃から始まつて九時近くに終りました。が、あとは皆さん夫々に仲よく帰られた様でした。進行係は相棒の吉田彬君です。

今年の幹事、怠慢で報告も簡單になつてしまいました。以上のような次第でした。尙蛇足をつけ加えますと、大體慣例として新卒業の會員からは會費を徴集しませんでした。之は先輩方の好意によるもので、今後も恐らくそうなる事と思ひます。来年の新會員はこそつて参加される様希望して置きます。何しろまた二回目なのでまだお互に慣れない点もありますが皆さん開拓者のつもりになつて、東山會をより立て、行こうではありませんか。

会場、その他、難点があつたとしても、お互同志元氣な姿を見せたい、見合うだけでも年に一回の会合は楽しい一つであり、年を経るに従つてその味わいも増してゆくものではないかと。小生も毎年欠かさず出席しようと思ひましたのは、あなたが幹事をやらされて熱が上つただけのせいではないと思ひます。

とりとめのない報告になつて誠に恐縮ですが第二回目の總會の報告は之にて終らせて載きます。

新涼や幾年振りの 友の顔
酒果て、また来む秋を 契りけり
以上

新役員として

副理事長 今村康人

会則に従つて役員を選挙が行はれ、
パトンは新役員に渡されました。
思えば昭和二十五年四月法養園に於
ける第一回總會によつて誕生しました
當東山會は、以後順調にその進路を誤
ることなく進んで来て居ります。

此の秋に當つて吾々會員一同、心を
新にして徳をべきことは所謂「産みの
苦しみを味わいながらこゝまで漕ぎ
つけて下さつた舊役員、更には第一回
總會まで運んで頂いた發起人一同の並
々な努力に對する感謝の念であり
ます」とかく、こうした事は會が成長す
るにつれて、年月の経過と共に、既成
の事実として忘れ勝ちなものでありま
すが、私も地元名古屋に居ります關係
その上苦勞の一端を知つて居るだけに
感謝の念で一杯であります。
重責を果されまされた舊役員に對しま
して會員一同から「御苦勞様でした」
とお禮の言葉を送ると共に、拍手を
以てお送り致し度く存じます。
今回新しく選出されました私達役員

は、益々責任の重大なるを感じる次第
でありまして微力乍ら全力を盡して、
會員各位の御期待に應えるべく努力す
る覺悟で居ります。

勿論こうした會は各位の積極的な協
力無くしては何一つ運営出来ません。
例えは庶務理事から全會員に漏れなく
何らかの通知を一回出すだけで二千六
百円位の経費を要するのであります。
この費用は勿論貴重な會費で賄われて
居ります。之に對して何ら応答して感
けない會員があると云うことは、如何
にも心淋しく感ずる次第であります。
役員だけが宙に浮いて、やがて消滅し
てしまふのが世間によくある例であ
ります。當會はゼントルマンの集りであ
りますから、こうした事はあり得ない
のであります。益々會を發展させるた
めにも、今までの協力を呉々もお
願ひする次第です。先般初めてを試み
として事業理事が輿論調査をしました
が、なか／＼活潑な御意見を載いて大
いに参考になりました。こうした意見
は出来得る限り今後の運営の中に繰り
込んでゆきたいと考えて居ります。
盛り上げる力を結集する一番の近道は
先づ横の連絡即ちクラスメートの間の
連絡を密にして頂くことであつて、會

事業報告

事業理事

一、新入會員歡迎會

日時、昭和二十七年三月二十四日午前
十一時

場所、医学部解剖学教室二階

例年の如く希望に胸膨らせて学窓を
出た新入會員の歡迎會は卒業式當日催
された。

出席者、生源寺、小林、井町、須賀
古賀、各特別會員以下七十二名（新入
會員出席者五十三名）。

會は卒業式終了後直ちに開かれた。
先づ開會の辭（高濱理事）に始まり
生源寺會長の Boys be ambitious で

なければならぬ旨の挨拶について、
理事長挨拶（代理下村副理事）、新入
會員代表挨拶に引續き懇談に入つた。
古賀先生の「東山會を愛するの辭」一
一大いに飲めるから——は断然光つて
いた。かくして午前十一時から始まつ
た歡迎會は午後一時和氣霽々裡に幕を
閉ぢた。

二、総 會

日時、昭和二十七年四月二十七日午後
一時

場所、愛知県商工館第一會議室

出席者、生源寺、津上、須賀、岡村
井町、古賀、古市、小野、春日、井伊
谷、二宮各特別會員以下正會員五十五
名、計六十六名。

本會の最大事業の一つである總會は
本年のゲスト津上先生を遙々信越の地
より迎えて華々しく開かれた。吉川理
事の司會により會は進められ、開會の
辭（吉川理事）、理事長挨拶（豊田理
事長渡米中のため下村副理事長代理）
経過報告（下村副理事長）、会計報告
（山本理事）と型通り進められ、統一
て議事に入つた。本年は役員交替期
に當るので、新役員承認の件並びに會
則變更の件その他の重要議題があつて
議事に手間どり、遠来の津上先生始め

諸先生方に大へん御迷惑をおかけした
が、選出された杉浦議長の議事促進奏
効して原案通り通過した。尚、會員中
より聲あり、新学制に伴なう會運営の
變更及び新学制の解説を希望されたが
これは理事会一任としてその討議及び
實行は後刻に譲つた。

三、世論調査の件

ここで會の空気を一新して、全會員
氣樂に飲み且つ話す恒例の懇談に入つ
た。諸先生方始め、先輩、同輩諸氏の
お話を肴にビール味の亦格別であつ
て、時の過ぎるのも忘れ程であつた
が、午後五時名残を惜しみつつ散会し
た。（F.Y記）

昨年五月役員交替に當り世論を調
査して種々立案實行に移したいと思ひ
世論調査を行つた。その結果は別表の
如くであつて、これに基づいて昨年九
月二十二日の理事會で種々討議し次の
如き結論に達した。項目をあげて結論
を説明する。

○機械工学講演會、産業經濟講演會
現在單獨に行うには、經費の点から
不可能である。従つて總會に合併して
行うのが合理的と思はれる。事業部と
しては折を見て實行に移す考えてあ
る。

○工場見學
會として纏まつた人員が集まること
は困難と思はれるので実行出来ない。
従つて會員相互間の中繼を行うのが合
理的であるから、希望者は希望工場名
を事業部へ連絡願ひたい。

○学内ニュースの報告
經費の点で毎月或いは單獨には行へ
ないので、今後とも會誌等にできるだけ
のせる。

○會報を年に三、四回発行
問題は會費の集まりが悪いので經濟
上困難である。又原稿の集りもよくな
いので、行い難い。

○教授との接觸の機会を多くする
名古屋へ来て戴けば個人的には會つ
て戴けるが、先生方御出張の折には連
絡を密にして逢つて頂く様にして戴き
たい。この点各地に支部が出来ると連
絡が密になりスムーズに行くと思ふ。

○クラブ設置の件
會費の拂込が悪いので現状としては
不可能である。

以上で結論は終わりますが、問題は會
費の納入が悪いことであつて、事業部
としても種々実行したいことがあるが
その点で行き詰るわけです。この点會
員皆さんの御協力を切望して止まない
次第です。（K.W記）

庶務報告

庶務理事

昭和二十七年四月二十七日日の總會後の關係分について御報告申し上げる。
六月九日
理事長豊川幸吉郎氏尊父御逝去につき東山會より會則に基き弔問費五百圓をおくる。
(なお、同氏より右に對する禮狀を東山會宛にいただいた。(七月二十二日))
六月十一日
理事會開催。於商工館みかど食堂

議事
一、東山會誌並びに名簿發行の件
一、會費督促の件
一、新制大学卒業生の取扱ひに關する件
一、會誌原稿募集の件

八月十日
前回理事會の決議に基き、會員の住所變更會費督促及び會誌の原稿募集のハガキを各會員宛に発送す。猶、この際東山會の行事や總會等につき輿論調査を行つた。
九月二十二日
理事會開催。於商工館みかど食堂

議事
一、各理事報告
輿論調査、住所變更調査、會費徵集狀況、會誌原稿集合同況について
一、東山會支部設置について
九月二十七日
一、幹事會開催。於商工館第三會議室
十一月二十九日
一、會誌原稿依頼の件
八月に行つた會員の住所變更調査に基いて名簿を整理修正し、編集にまわす。
十二月二十日
来年卒業見込の學生に東山會入會勸誘し、東山會の性格、會則等説明す。
十二月二十六日
理事會開催。於商工館みかど食堂

議事
一、本年の總會以後の経過副理事長報告
一、理事長就任挨拶(理事長外遊中たりため本日に延びた)
一、新制・舊制卒業生取扱ひに關する件
一、會計報告
一、編集報告
一、東山會支部設置、同規則に關する件

輿論調査集計報告

全會員について行つたが、返信數は七十四枚(各回四乃至十一)
一、東山會總會その他の行事について現狀のまゝでよしとするもの 二十九
二、産業團體と關連する相談所を作れ 三十三
三、東山會クラブを設置せよ 二十四
四、支部を東京・大阪に設置せよ 二十四
五、新校舎完成の際に集會を行え 二十五
六、先生方との接觸の機會を作れ 七
七、會報を年一度以上發行せよ 七
八、大學ニュースをガリ版でもよいから出せ 六
九、會費を餘り上げるな 三
十、名簿の完璧を期せよ 二
十一、會誌に先生方の写真掲載せよ 二
一(庶務)

會計報告

(昭和二十七年十二月末日現在)

會計理事

昭和二十七年四月二十七日日附にて會計理事は、東山會規約に定める選舉の結果別述の通り交替致しました。
由來、會計に關する事務は、會の生命線であると共に、よく誤解を受け易いものでありますので、こゝに改めて會計の基本方針を御諒解戴くと共に、會計中間報告を致します。
會計の基本方針は次の区分によります。

- 1 一般會計
収入源は、一般會員の入會金及び會費であつて、支出は會誌・名簿の發行、諸事業の通信費・雜費であります。
- 2 特別會計
収入源は、會員及び會員外の寄附、預金利息及び總會出席の一般會員の特別會費であつて、支出は總會費用及び特別支出であります。

會計内容 (昭和二十七年十二月末日現在)

1 一般會計	
収入合計	109,560.25
内 訳	
前年度繰り越し	54,360.25
入會金及會費	55,200.00
支出合計	54,149.00
内 訳	
印刷費(27年會報)	37,766.00
通信費用	8,798.00
理事會費用	5,330.00
雜費計	2,255.00
残	55,411.25
2 特別會計	
収入合計	47,884.68
内 訳	
前年度繰り越し	2,000.00
總會費(300.00×55人)	16,500.00
特別會費	28,980.00
附子	404.68
支出合計	35,580.00
内 訳	
總會費用計	35,580.00
残	12,354.68

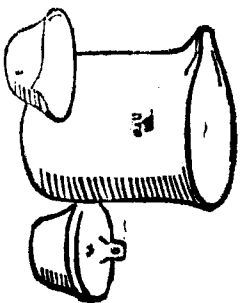
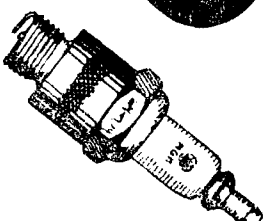
編集後記

會誌第二号もようやく出来上つた。
初代総長澁澤先生を始め、文學部水川先生、會長生源寺先生には御多忙中にも拘わらず、稿を寄せて戴き、會誌に一層の輝きを増すことが出来ましたことを、厚く御禮申し上げます。
また職務多忙の中を寄稿された會員諸兄、並びに種々御協力を戴いた各理事各回幹事の方々に感謝すると同時に、編集者の不馴れ及び怠慢のために発行が遅れたことをお詫び致します。
なお種々の事情のためにやむなく割愛した原稿もありませんが、この点は寄稿して下さつた方々の御諒承をお願いしたいと思います。
守成は創立よりもむづかしいと申しますが、會員一同益々協力して東山會を盛大にし、會誌を育ててゆきたいと思つた。二月末日 編集理事

東山會誌 (第二号) 【非賣品】

昭和二十八年三月十日發行
名古屋市中区千種区不老町
名古屋大学工学部機械学科教室
編者 東山會
印刷所 井筒産業株式會社
名古屋市中区櫻通三丁目
電話東④〇八八九番

NGK ZTK セラミック 化学磁器



耐アルカリ磁器
耐アルカリモルタル
耐熱磁器
ペーレツクス (ペーレーライナー用ボンド)
糸
其他特殊磁器
道 (紡績用)



日本特殊陶業株式会社

本社及工場
東京営業所
大阪営業所
福岡営業所

名古屋 瑞穂区堀田通一丁目 (日陶館内) 電話 瑞穂 ⑤ 1521 番 ~ 5 番
東京都港区芝罘平町一丁目 (日陶館内) 電話 芝罘 ④ 1393 番
大阪府北区精筥堂島 (堂島ビル 4 階) 電話 堀川 ⑤ 518 番
福岡市小戸町四丁目 (日本自動車株式会社福岡出張所内) 電話 東 ③ 4631 番